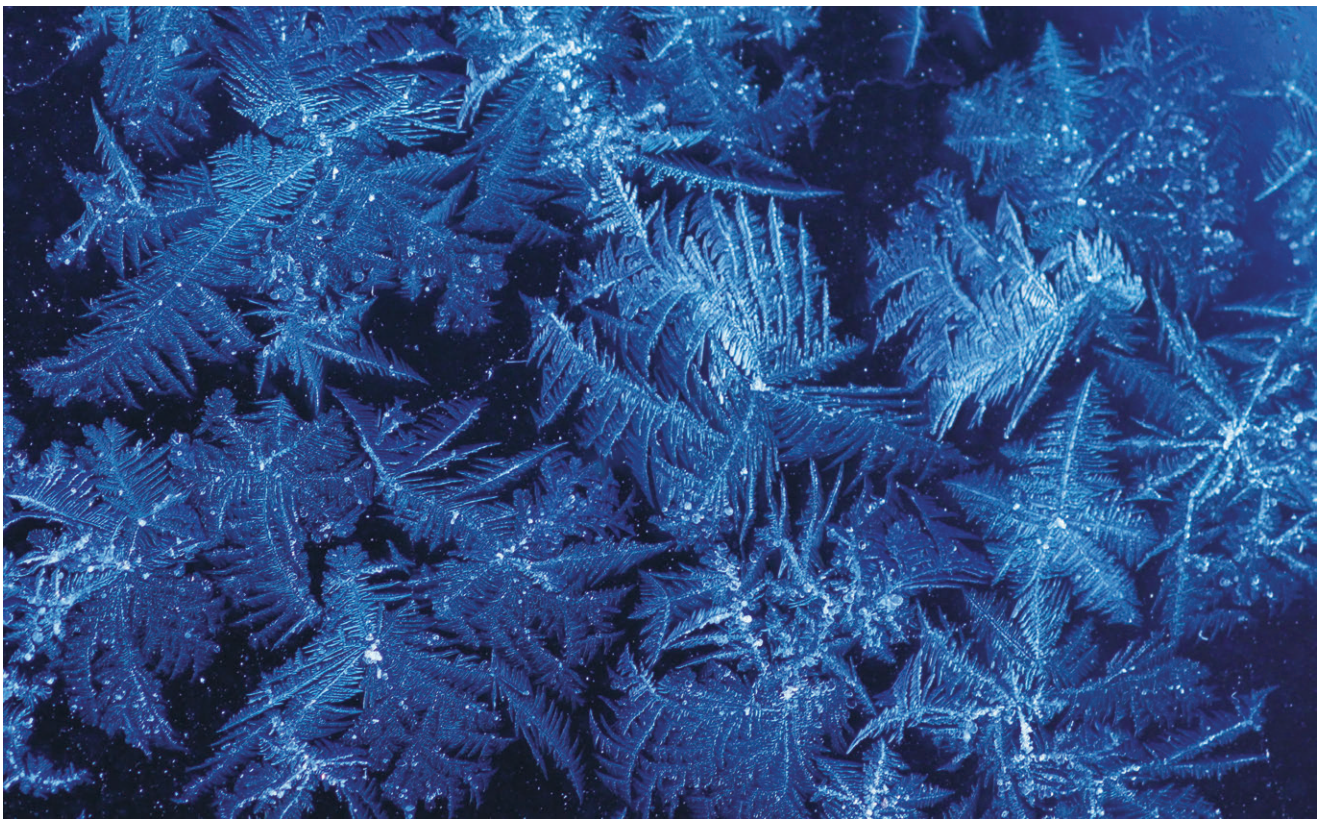
SSK Report

Vol.178
冬号
2025年

埼玉県私塾協同組合●広報誌 https://www.saikumi.net



聖望学園中学校・高等学校 生徒作品

●広告・目次

星槎国際高等学校……15　東洋大学京北中学高等学校……15　佐野日本大学高等学校……19　岩倉高等学校……19
株式会社SYM……19　駿台学園中学・高等学校……21　秀明中学校・高等学校……26　声の教育社……29
文京学院大学女子中学校高等学校……31　駒込中学校高等学校……32　高野山高等学校……33
中央大学附属中学校・高等学校……35　藤枝明誠中学校・高等学校……36　昌平高等学校……37
武蔵野大学附属千代田高等学院……38　埼玉平成高等学校……39　豊南高等学校……41　進学研究会(進研テスト)……44

●目次

新年のご挨拶●坂田 義勝〔埼玉県私塾協同組合理事長〕……03
特別寄稿●鎌田 慎太郎〔ベネッセコーポレーション　塾・教室開発部グループリーダー〕……04
学校紹介●神山 達人〔東京農業大学第三高等学校・附属中学校校長〕……06
学校紹介●神杉 旨宣〔城西大学附属城西中学・高等学校校長〕……08
学校紹介●深澤 一博〔西武台新座中学校・西武台高等学校校長〕……10
学校紹介●山口 直也〔埼玉平成中学校・高等学校校長・理事長〕……11
特別寄稿●小宮山 博仁……12
塾なんでもん●長原 糸惠〔のびのび学習教室〕……14
「共有地の悲劇」に学ぶ●浅沼 渉〔専門学校東京ビジネス外語カレッジ・学習塾ファインズ講師〕……16
百済・新羅から大和国へ●布浦 万代〔万葉集研究家〕……20
家紋作りに挑戦●大水 秀樹〔東星学園中学校高等学校　数学科〕……22
少子化と教育資金●由紀 草一〔元茨城県公立高校教諭〕……24
春降る雪は音もなく(12)●山﨑 しだれ……30
乱読毒舌独語(17)「人工知能」と「頭脳」●国分 岳……34
娘たちとの生活　in　America(13)様々な学び方●織井 菜穂……38
組合活動記録……41
組合加入へのお誘い……42
組合加盟塾一覧 ……43
報告＆執筆協力者・編集協力・編集後記

●ＳＳＫスケジュール

2025.1.16(木)	理事会	レイボックホール(大宮)	10:00～12:00
1.27(月)	「教材教具・情報展」	大宮ソニックシティ 市民ホール401・402	10:00～14:00
2 .20(木)	理事会	レイボックホール(大宮)	10:00～12:00
3.27(木)	研修セミナー(調整中)	レイボックホール(大宮)	10:00～12:00

新年のご挨拶

坂田　義勝（埼玉県私塾協同組合理事長）

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

SSK Report の発送が遅れ、新年のご挨拶が２月になりましたこと、ご容赦ください。旧年中は、幣団体（SSK）に対し多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

早いもので私が塾を創設して今年で47年目を迎えます。大学を卒業して28歳まで商社マンとして営業活動をしていましたが、当時出会った某会社の社長が私の人生を大きく変えるきっかけを作ってくれました。話せば長くなりますが、当時川越で本田技研工業の傘下で専用加工機の開発製造していた某会社から私が在籍していた部署（産業機械部／工作機械課）へ商談が持ちかけられました。工業団地への進出を機に数百万の設備投資を見込むもので、当時としては高額な出資でした。搬入時には販売課の営業マンが立ち会うことが慣例でしたので、私がその搬入に立ち合ったわけですが、それが社長との運命的な出会いでした。

それから２年ほど経った 1974 年に中東紛争のあおりを受け、第一次オイルショックが日本経済に大きな打撃を与えました。原油価格の高騰や物価上昇がインフレを引き起こし、とりわけ自動車産業に暗い影を落とすこととなりました。そんな経済情勢の中、社長が設備投資に充てた数百万の長期手形が予定通り決済できなくなり、最終的に手形のジャンプ（ローンの先延ばし）要請を受け、資金繰りの再調整が始まりました。会社の再建を期して決済の先延ばしを決めたことから、その後の経営状態の推移を注視していくことが私の役目となりました。東京から月に数回の頻度で会社を訪ねるうちに社長との交流が深まり、弟分のように接していただきました。そんな中、1977 年の夏、社長からこんな依頼を受けたのです。

「僕の知り合いで、塾をやっている人がいるのだが、日曜日だけ手伝ってくれないだろうか。」と。元来教えることが好きだった私は、二つ返事で引き受けました。夏休みだけのはずが数ヶ月続きました。そして、あるとき「塾で教えるのは本当に楽しいですね。」と口走ったら、すかさず社長は「じゃ、塾始めたら。僕が全面的に協力するよ。」と言い放ったのです。大きな会社組織の一歯車で働くより塾の指導の方に情熱を感じ始めていました。会社の上司からも家内からも猛反対されましたが、九州男児の意志は固く、周りの心配をよそに頑固にもこの道を選んだのでした。土地も塾舎も備品も全て社長が準備してくれました。２年後に手にした土地や建物にかかる資金も銀行と掛け合ってくれたおかげで融資を受けることができました。

社長との出会いが私の人生に大きな転機を与えてくれたこと、さらに塾の行く末を案じてあたたかく見守ってくれたことに深い感謝の念を抱かずにはいられません。社長の子どもさん３人、さらにはお孫さん４人まですべて私の塾から巣立っていきました。残念ながら社長は既に他界されていますが、塾生には、ことあるごとに「人との出会いの大切さ」を語りながら、心で合掌しています。

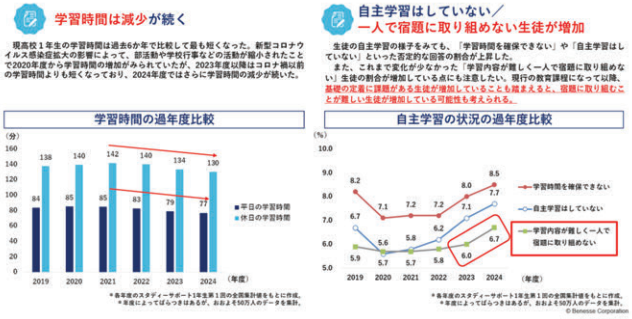
「新しい時代の塾経営のサポートツール」第2弾

鎌田　慎太郎（ベネッセコーポレーション　塾・教室開発部グループリーダー）

前号に続き、塾経営のサポートにと資料を用いてご説明いたします。

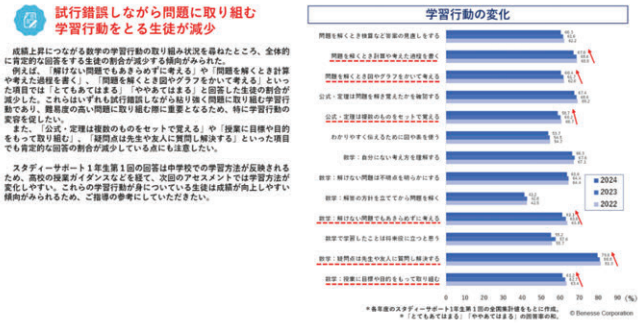
①【高１生の変化と中高継続の重要性】

コロナ禍の影響を受けながら中学生活を過ごした現高１生たち、ベネッセの「スタディサポート」の調査（数十万人以上のデータ）では顕著な傾向が出ています。



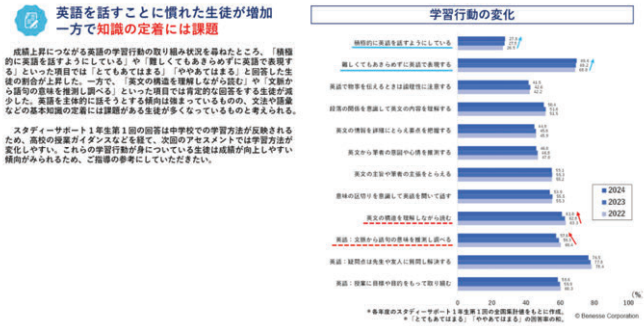
⇒コロナの休校があった 2021年は在宅での学習時間は増えた一方全体的な学力低下が見られましたが、以降年々学習時間そのものが減少、部活動の全面解禁もあるがコロナ以前に比べても下回っており平日、休日ともに学習をしていない生徒が増えてきている。

また、生徒の自主学習では時間の減少だけでなく「学習内容が難しく１人で取り組めない」の割合が増えてきており中学までの基礎学力の定着をしないまま高校受験を越えてしまっている生徒が増えている傾向があることが見られる。



■学習行動の変化「数学編」

・数学に関しては粘り強く問題に取り組む姿勢が低下していることや疑問点を友人、先生に質問して解消するといった行動面でも消極的になってきており、中学までの基礎力低下に拍車をかけて苦手意識を持ったまま高校生活を送っている生徒の割合が増えてきている。

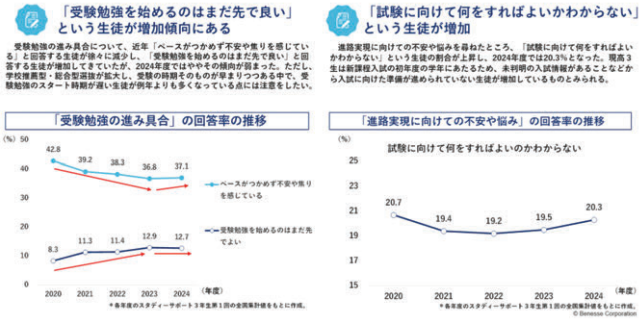


■学習行動の変化「英語編」

・英語に関しては数学と異なり難しくても諦めずに英語で表現するという生徒の割合や「英語を話す」ということへの抵抗感は年々なくなってきており、英語表現の教科に関しては成績向上にも繋がっていると見て取れる。

一方、英文の構造理解や語句の意味を理解しているか？の項目は年々減少してきており、中学までの英文法、単語がわからないまま高校生になっていることが原因とみられる。

■大学受験への意識変化



・受験意識に関しても年々先送りにしても大丈夫という意識変化が起きている、同様にそもそも何をしていいのかわからない、行動するにも何から手をつけていいかわからない生徒が増えてきている。

■塾として何をサポートしていけばいいのか

・少子化、年内入試の増加は今後ますます進んでいく中で塾としてどんなチャンスがあるのか、ここまでお伝えし内容からも大切な点は以下となります。

①中高継続の重要性

→様々な学習ツールの充実や情報、選択が自由になった時代だからこそ「人」が関わる塾の大切さが改めて求められています。その中で多くの塾で苦戦をされている中高継続にこだわることは塾の経営だけでなく生徒にとって一番幸せな選択となることは間違いありません。高校生の基礎学力低下、精神面・進路面のサポートを高校生でも塾で出来ることは安心材料になります。

②多様な進路に対応していく柔軟さ

→少子化、大学進路選択での 2 極化に伴い国公立、私立問わず新学部、学科の設立、個別最適なカリキュラムと新しい学びへの変化が毎年行われています。生徒が選べなくなってきている時代だからこそ、生徒に寄り添い、生徒のことをわかっている塾の先生方からの進路提案はとても説得力があります。とはいえ毎年変わる情報を正しく理解して伝えないといけないのも先生方には大変なのも事実です。ベネッセの「マナビジョン」では無料で生徒の進路指導をサポートできますので詳しい説明を聞きたい方は是非お問い合わせくださいませ。

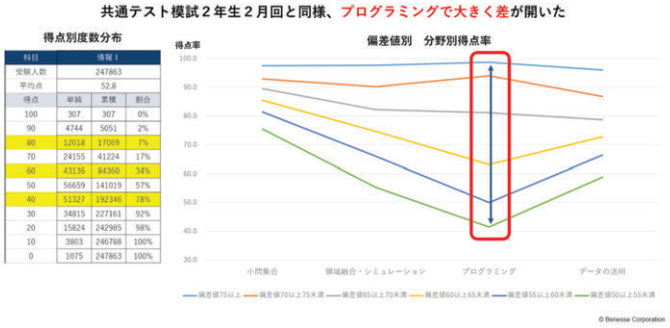
■改めておすすめの教材紹介

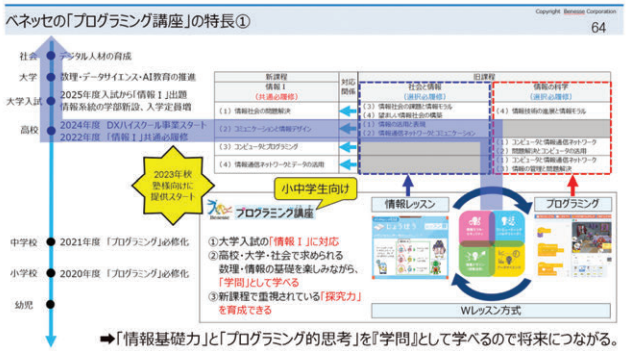
・前号でも紹介いたしました AI ストライクですが実際に導入いただいている塾様では中高継続に成果が出たと大変満足されています。埼玉県入試が終わったその日から高校予習に取り組めますし、2025 年 3 月 10 日には「中学版」がリリースいたします、これにより中学の復習、小学生への予習にもお使いいただけますので是非ご検討ください。

➡最大2回の遡りで習得できるように設計されているため、苦手でも学習継続しやすい。

③情報Ⅰ大学受験必修化に伴う「プログラミング教育の新たな可能性」

最新の進研模試結果でも情報１分野については得点差が開いている状況です。特にプログラミング領域で差が開いており、学校の授業だけでは埋まらないものとなってきています。来年の必修化に伴い間違いなく情報対策が塾でも求められます。ベネッセのプログラミング講座では小学校のうちから情報対策を楽しく学べて大学受験に向かえるので塾にとっては長く通ってもらえるという利点もあります。また、情報を学ぶと他科目への好影響も出ているという調査結果も出ており、日ごろの塾での学びの支援にもつながります。





◆どちらの商品も埼玉県私塾協同組合様限定の特別割引価格にてご提供させていただいております。お問い合わせ、お申し込みのご相談はお気軽に戸田理事までご相談くださいませ、すぐにベネッセ担当者よりご連絡いたします。

AI StLike

プログラミング講座

学校紹介　未来を見据えた学校改革（前編）

神山　達人（東京農業大学第三高等学校・附属中学校校長）

「SSKReport」をご購読の学習塾の先生方、いつも大変お世話になっております。東京農業大学第三高等学校及び附属中学校の校長、神山達人と申します。本校は 1985 年に開校し、今年度は高校創立 40 周年を迎えました。そのような中、私は本校に着任して 38 年目となり、校長に就任して 5 年目となります。生徒募集業務には 30 年近く携わり、この間、埼玉県私塾協同組合理事長坂田義勝先生をはじめ、多くの先生方にご指導・ご支援を賜りましたこと、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

2020 年 4 月、校長就任後の最初の職員会議で先生方に伝えたことあります。「私立中学校・高校である以上、在校する生徒・保護者の満足度を高め、その結果として、現在 20 代、30 代の先生方が私と同じ年齢（当時は 50 代後半）を迎えたときに、農大三高・三中が存続し、さらに一人ひとりの先生方やそのご家族の皆さまの生活環境が向上することを目指します」ということでした。「国立社会保障・人口問題研究所」の分析による日本の将来推計人口の資料を鑑みると、2040 年の本校生徒の通学圏の 15 歳人口は驚くほどの減少が予測されております。職員会議での言葉は、結果的には、危機感を共有しながら、一丸となってこの難局を乗り越えようという趣旨でした。しかしながら、実態としては、2020 年 3 月からコロナによる全国一斉休校→分散登校・時差登校など、学校としては、まさに出鼻をくじかれた感を否めませんでした。ただ、1918 年に世界規模で発生したいわゆる「スペイン風邪」も２～３年で終息しておりますから、コロナもやがては終息するはずだ。その時に農大三高・三中のハード面・ソフト面での新たな景色を創り出そうという視点で、先生方、生徒、保護者、OB 等々からいろいろとお話をいただきながら、教職員一丸となって改革を進めていきました。以下、前編は中学での取り組みを中心にご紹介しまう。

◆教育改革 3 本柱

中高の共通の教学面では、金田喜明前校長（現学校法人東京農業大学初等中等教育部統括校長）の旗振りで、教育改革 3 本柱を打ち出しました。すなわち「グローバル教育」「実学教育」「学内完結型教育」です。

◆中学での取り組み

中学での「グローバル教育」は、中１で外国人留学生との校内での交流会「イングリッシュワークショップ」、中２で外国人留学生との宿泊型研修「グローバルイングリッシュキャンプ」、そして中３は「ニュージーランド語学研修」を行い、それらの行事での学びの成果を浪漫祭（文化祭）でプレゼン発表することが最終的なゴールとなります。「実学教育」では、中１ではダイズ栽培による味噌づくり体験、肥料や日照時間等の生育環境を変えながらダイズの観察記録を蓄積し比較分析して得た成果を発表する研究体験、中２では日

本養殖振興会の指導により、校内でのヒラメの養殖と１年間を通して養殖への学びを深め、未来の養殖の在り方について考察していく養殖体験、中３では、実学教育の集大成として北海道修学旅行を実施し、新巻き鮭作り、北方領土、アイヌ文化への理解を深める文理融合教育が実践されます。以上のような体験型授業の中に、様々な学びの要素（科学・技術・機械・芸術・数学）を織り交ぜ、STEAM 教育と銘打ち、教科融合教育を展開しております。「学内完結型教育」では、学習と生活の両面での支援組織である「EDoM」を導入しております。放課後の自習室運営と講習、EDoM 主催の保護者会の開催等々を通じて、生徒一人一人を保護者・EDoM スタッフ・本校の教員の三方向から寄り添っていくという新たなシステムが完成しております。

（「塾なんでもん」募集要項）

編集部では「塾なんでもん」コーナーの原稿を募集します。
学習塾を経営、生徒指導されている方対象。以下の要領でご執筆ください。

日々の生活や仕事などを通じて想うこと、していること（してきたこと）をなんでも自由気ままにお書きください。塾の仕事に関係しければならない、ということもありません。むしろ先生が意図していない形で、読者の心に響いてくる何かがあるはずです。
内容についての目安。

- 塾運営で特に心を砕いて取り組んでいることを中心とした、塾紹介。
- 生徒や保護者達とのやり取りを通じて殊に感慨を深めたこと、雑感。
- ご自身の教育理念や、分野にとらわれず思いを強くしていること、伝えたいこと。
- 個人的に研究・調査していることの成果発表。
- 小説・物語形式や、動画・絵画・書・写真等ビジュアルな形式、作曲等の記号形式での作品発表。（閲覧してほしいサイトがあれば URL や QR コードを添付）
- 時事的な見聞、世相等に関してコメントしたいこと。
- 個人的な経験や、趣味道楽等を通じて学んだこと、宝もの。　　等々

寄稿要件
①塾名ロゴ　HP の QR コード等　執筆者名
②タイトル設定（例）「〇〇塾の教育方針」「社会に貢献できる人材の育成」
③文字数：1500 字程度（増減可）
④執筆者の顔写真・プロフィール＋掲載必要な写真、図版等（メール添付で）
⑤原稿送付先：本荘雅一宛てにワード添付で送信　honjo@gkdan.com
⑥原稿〆切：随時。先着順で直近号に掲載。

学校紹介　「城西学園の国際交流プログラム」（１）

神杉　旨宣（城西大学附属城西中学・高等学校校長）

城西中学高等学校は 1918（大正七）年、創立当初から英語教育を重視していた。昭和初期に女性のネイティブ教師を採用したのはその一例である。1934（昭和 14）年、城西学園に逓信省で外交文書の和訳の仕事をしていた新藤富五郎先生が英語教師として赴任した。新藤先生は戦中戦後の最も困難な時にも、英語教育を強化し、戦後の新しい学園の土台を築いた。自由教育の精神が当時の軍国主義の時勢に合わなかったことを考えると、先人たちの毅然とした精神に改めて敬服するばかりである。

こうした、DNA を継承した本校は戦後の高度経済成長期を経て、グローバル教育へと歩みを進めた。1982（昭和 57）年にアメリカオレゴン州のスイートホーム高校から２名の長期（１年間）留学生を受け入れ、翌年は本校生徒を派遣と、隔年での交換留学制度がスタートした。直近の留学生受け入れ数（長・中期留学生）を示すと、コロナ前ではあるが 2015 年７名、16 年８名、17 年 11 名、18 年８名、19 年、5 名となる。

開始当初の 1982 年から最初の 33 年間で 58 名だった留学生も 2015 年から 19 年のわずか５年間で 39 名と急増している。短期留学を含めると 2017 年の一年間で 155 名を受け入れている。アメリカのみならず、欧州、オセアニア、アジア、東南アジア、実に様々な国や地域から多くの留学生を受け入れている。

本校では、特に「インターナショナル…」と名が付くような特別なクラスやコースを設けていない。留学生を高校１学年すべてのクラスに配置し、全校生徒にとって留学生との交流が「当たり前」となっている。世界中から集まった「異なる母国語の留学生たちが日本語で繋がる」面白さが風土として根付いているのも本校の特徴である。また、当然ながら短・中・長期の留学生の派遣も同様に行っており中学生から高校生が毎年数十名、海外へ学びに行っている。現在、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、中国、台湾の７か国に 13 の姉妹校・提携校をもつ。

また、中学３年生は全員、オーストラリアに２週間の研修に行く。現地校に入り、英語で学ぶ。現地校では一人一人にバディがつき、ホームステイではホストファミリーと寝食を共にする。初めて親元を離れ、子どもたちが五感をフルに働かせ、自分の力を試してくる。英語はもとより、異なる文化、価値観を肌で感じ取ってくる。

こうした、環境が城西の生徒たちにもたらす教育効果は目を見張るものがある。2023年度英検取得率全国私学第１位という実績もその一つであろう。学園の空気のような自然な流れの中で、英語の必要性を実感した子どもたちが、自ら資格取得に動いたのも当然だと思われる。

校長に就任した 2022 年、新プログラム「ＵＳデュアルディプロマプログラム（以下 DDP）」を始動した。本校に在籍しながら、放課後アメリカのハイスクールの授業をオンラインで受講し、卒業時に城西高校の卒業資格とアメリカのハイスクールの卒業資格を同時に取得するプログラムだ。ビジネス学・美術鑑賞・音楽鑑賞・再生可能エネルギー・メディアとコミュニケーション・海洋学・英文学など授業が実に魅力的なものばかりである。卒業時には全米ハイラ

ンキングトップ２～８％に位置する大学を含む 30 の大学（アメリカ・イギリス・オーストラリア・UAE）の入学が保証される。また、国内の難関私大も帰国生入試や総合型選抜で受験が可能である。現在、修了生の第１号が誕生した。彼の進路先にも注目しているが、実は前述した国際交流プログラムやＤＤＰより、校長として着目しているものがある。

数年前に内閣府が行った我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（日本･韓国･アメリカ･イギリス･ドイツ・フランス・スウェーデン）において、数ある質問の中で、日本人の若者が「そう思う」と回答した割合が諸外国と比べ、著しく低いものが以下のような質問だ。

「私は自分自身に満足している」10.4%
（アメリカ 57.9%）
「自分には長所がある」16.3%（韓国 32.4%）
「自分の考えを相手にはっきり伝えることができる」13.8%　（イギリス 35.4%）
「将来世界で活躍している」3.8%
（スウェーデン 16.2%）
「多くの人の役に立っている」7.3％
（フランス 19.5%）

さらに令和４年に行われた OECD の調査では、「困難に直面した時、たいてい解決策を見つけることができる」「自分の人生には明確な意義や目的がある」「全体としてあなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか」これらの質問において日本人の高校生が OECD 加盟国中で最下位の数値をたたいている。

この要因は、専門家によってさまざまな分析がなされ、見方が異なるかとも思うが、私は日本の若者の「自己肯定感の低さ」の表れであるのではないかと考える。

本校の国際交流の取り組みは、こうした課題を乗り越えていくために有益であると言いたい。互いの言語はもとより、価値観や文化の違いに戸惑いながらも、留学生とともに授業や部活動、行事、探究プログラム（次号掲載予定）など、学校生活を共にする。「自分も彼らのように、アグレッシブに行動してよい、発言してよい、チャレンジすることは自分の殻から飛び出せるきっかけになる」。本校の生徒たちは、多くの気づきを得て、思考や行動に変化が生まれるのである。

前述した若者の意識調査の質問を、本校の内部進学した高校 1 年生に答えさせた。結果は以下のとおりである。※（）内は日本の平均値。

22%（10.4）31%（16.3）39%（13.8）
16%（3.8）26%（7.3）

様々なプログラムが展開されているため、一概には言えないが、その中でも本校の国際交流プログラムが自己肯定感の定着に非常に有効な働きしていると言えるのではないだろうか。

最後に、先日行われた高校生合唱祭のコンクール予選での出来事をご紹介したい。

三番目に登壇したクラスが課題曲を歌い終え、自由曲に差し掛かった時、ある男子生徒が突然倒れこんだ。すぐさま、隣にいた留学生が右手で彼を抱え込んだのだが、その留学生は正面を向いたまま、その姿勢で歌い続けた。私も含め客席に居た誰もが動揺したが、なんと倒れた男子もまた、しゃがんだまま片膝をゆっくり立てて、やはり同じく正面に顔を向けて歌い続けたのである。この日のために、何週間もともに練習してきたクラスメイトの想いが二人をそうさせたのかもしれない。不覚にも私は涙が溢れてしまった。

人と響きあう感性が豊かな中高生の時期に、そうした留学生たちとの「何気ない時間の共有」こそ、城西の生徒たちにとって、理屈ではない、実に貴重な経験となっていることを校長として実感している。

HP QR コード

学校紹介　3年間のその先へ！ー未来を見据えた教育でなりたい自分になるー(1)

深澤　一博（西武台新座中学校・西武台高等学校 校長）

本校はここ新座の地に、昭和 56 年開校し今年で 44 年目になります。中学校は平成 24 年に開校し今年で 13 年目になる比較的若い学校です。

創立以来の本校の校訓に「豊かに知性を磨き　美しく心情を養い　たくましく体を鍛えよ」とあります。最後の体力は一番活動の基礎となるもので、受験でも最後は体力勝負になってしまいます。

さて皆さんが現役で一番活躍する年頃にこの社会はどうなるのか全くと言っていいくらい予測がつきません。情報化の中でも特に AI に象徴される変化は激しく、住みにくいのか住みやすいのか、見当がつきにくい時代となります。しかし皆さんはそうした社会でも自分の足でしっかり立ち活躍をしていかなければなりません。そのためにも高校生活において自分を磨き、未来の時代でも応用力の効く学びかたを身につけ多少のことでもめげない逞しく生きる精神力の基礎を作る必要があります。まさしく十代の若く柔軟な頭脳を具えた高校の 3 年間はそうした時なのです。

西武台高校のここで学ぶ 3 年間で様々な体験を自分一人だけでなく、友人達と一緒に経験し、お互いの知力を鍛えるだけで無く、そうした学びの土台を作れる、豊かな体験が実感できる環境を大切にしております。揺れ動く日々のなかで精神的にも体力についても、自分一人だけでなくお互い切磋琢磨し、将来にわたる大切な友達にも出会える場所でもあります。

更に皆さん一人一人を大切にし、ここで 3 年間を送って良かったとの思いが実感できる先生方も待っております。在学している生徒の皆さん達も、明るく気持ちよい挨拶と共に心配りの出来る心穏やかで安心できる環境を作り出している仲間達です。

皆さん一人一人には自分のありのままを大切にできる自己肯定感と共に未来を見据えた教育で自分は出来るのだと自信を持ち、将来多少の困難に遭遇してもその覚悟の上で目標とするなりたい自分になる努力をして欲しいと願っています。

本校で展開する学校の具体的な学びは、全学年でコース制を取っております。特進 S コース、2 年前

に発足した探究の学びを一層具体化した STEAM コースの 1 クラス、このコースはいわゆる中間、期末試験はしておりません。そして中核をなす選抜Ⅰコース、選抜Ⅱコース、そして進学コースの 5 つのコースがあります。どのような学びと目標があるか細かいことは学校案内を是非一読して下さい。

21 世紀に入り世界中で情報化が加速度的に進展する社会で、教育の行く末に人間そのものがどのような社会を作り出そうとしているか、まさに戸惑いの中にいます。

人工知能 AI が大きな関心を持たれたのがほんの 10 数年前でした。それが我々でも簡単に使えるチャット GPT の出現により、そのあまりにも急激な進展に意識が追いついていません。

人が出来ることの最大の利点は、学んだことから新しい発想による創造的な仕事を推し進めていけることでもあります。本校は全教室に電子黒板を備え、どの教室からでも 1500 人が同時にインターネットに双方向で接続できる大容量のシステムが備えられています。日常的には板書の時間を短縮し得られた時間を活用しアクティブラーニング形式の学びを導入し、自分の考えを自ら他の人に理解してもらう方法を学び、友達と共にその中から考えたことをどう工夫しクリエイティブなものに変えていくか、そのような授業を大切にした教育内容を展開しております。

新しいものを生み出す力を、仲間と共に作り上げていく、理解してもらう喜びを実感とし、その手法を身につけていく。そうしたことを是非本校で学んで欲しいのです。

学校紹介　埼玉平成の改革への挑戦～新校長の抱負と覚悟～（1）

山口　直也（埼玉平成中学校・高等学校　校長・理事長）

私は令和４年１月より学校法人山口学院理事長、令和５年４月より埼玉平成中学・高等学校長を務めております、どうぞよろしくお願い申し上げます。この度は学校紹介コーナーに連載させて頂く機会を頂戴いたしましたので、今回は校長紹介ということで私自身のことを紹介させていただけたらと思います。

「育む」。祖父であり、本校創設者である故山口茂先生が大切にしていた言葉です。墓参りに行き、墓石に刻まれたこの言葉を見るたびに、私はいつも教育の在り方について考えます。

元々家業に興味がなく、父は学校に勤めているようだが、どこで働き、どのような仕事をしているかを全く知りませんでした。そんな父に「一緒に仕事をしてほしい」と話をされたのは高校２年生だったことを覚えています。この会話が教育について考える１つ目の岐路だったと思います。

それから教育職について考えるようになり、学生時代には学習塾でアルバイトや非常勤講師として教壇に立つ経験をしました。当時はまだまだ私自身も青く「教えることはわからせること」と思っており、教えることの難しさを感じていました。学生時代も終わりいよいよ就職をするというタイミングで祖父の墓参りに行った際に、墓石に刻まれた「育む」という言葉を見て深く考え、自分のやり方に優しさや愛情が欠けていたことに気づかされました。これが自身の教育の在り方の原点であり、２つ目の岐路です。

埼玉平成高等学校に入職し、過去の反省を生かして「教育とは導くこと」をモットーに教鞭をとっていましたが、世代交代の準備ということで法人職員へ異動となりました。教育現場からは離れてしまい寂しい日々を過ごしていましたが、この間に結婚をして子供を授かり、愛情というものについて考えることができました。初めての子育てで右も左もわからず疲弊した日々を過ごしていましたが、子供の成長を見ることを通して「愛情とはなんだろう」「何もわからない子供に教えるとはなんだろう」と日々考えるようになり、生徒に対する愛情がこちらから一方的に伝えるものだけであり、受け入れることができていなかったことに気が付きました。これが３つ目の岐路です。

令和４年１月より学校法人山口学院の理事長に着任し、令和４年度より埼玉県私立中学高等学校協会の理事職を仰せつかっております。最初は経験豊富な理事長先生、校長先生がいらっしゃる中で私なんかがなんの役に立つのだろうかと思いながらも、どんな理由があろうとも選ばれたからにはやれることはやろうと心に誓いました。中高協会での活動を通じて、私学教育の特徴や難しさ、様々な方々の考え方に触れることで多くのことを学び、私学教育の一端を担っているという自覚と責任を感じるようになりました。今までは目の前にいる生徒のことだけを考えていましたが、これからは中学生や高校生が後悔しない進路選択をしてほしいと、もっと広い意味での教育について考えることができるようになったことが４つ目の岐路です。

30代半ばの私にとってまだまだ学びの途中ではありますが、私もこれからの学校のためにどんどん貢献しなければならない、そのような気概を持ってこれからも「育む」を大切に学校運営にあたり、学校改革に取り組んでいきたいと考えております。また、学校の職員も世代交代が進んでいく中、新しいことに取り組むことを大切にしていきます。

次回からは、埼玉平成中学・高等学校の学校改革への挑戦についてお話しさせていただければと思います。

HP QR コード

特別寄稿　「分断化しつつある社会での学びとは」

小宮山　博仁

アメリカのトランプ現象が日本でも起こりつつあります。経済資本の格差が拡大してくると、分断化した社会に向かっていくことは、経済の先進諸国や発展途上国を問わないようです。このような時、反リベラルで自分中心主義の思想がもてはやされ、エビデンスをもとにした論理を展開していく知識人はけむたがれる雰囲気になっていきます。SNS のような情報発信手段を、だれもが手にする時代になってきました。このような時、私たちはどのような学び方や知識が求められるのだろうかという視点から執筆した本です。

この難問を解決するキーワードが、非認知能力と認知能力ではないかと考えました。

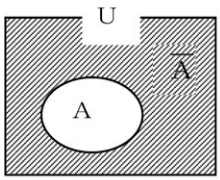
認知能力は、認知的能力とも称し cognitive ability（skills）と英語で表記しています。それに非をつけて、非認知能力（noncognitive ability(skills)）という用語を広めたのは、「幼児教育の経済学」（東洋経済新報社）などで知られている、アメリカの労働経済学者 J・J Heckman（ヘックマン）です。その用語が 2021 年の中央教育審議会初等中等教育分科分でいつのまにか取り上げられ、一気に広まったという経緯がありそうです。

よく考えると何を認知能力か何を非認知能力かという定義らしきものは、ヘックマンの論文をチェックしても出てきません。

このような事実を知ったうえで、非認知能力という用語を拙著では使っています。この認知能力と非認知能力という二項対立の概念は、分断化した社会を考える上で便利ですから。

2022 年に認知能力と非認知能力を、私なりに定義しました。今考えると冷汗ものです。

私は認知能力を測定できる能力、非認知能力を測定できない能力と、とりあえず強引に定義して、全体集合と補集合の図で解説しました。



能力＝全体集合（U）

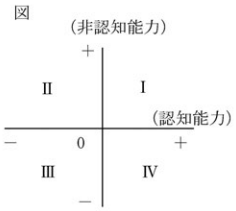
認知能力＝部分集合（A）

A→算数（数学）・国語、理科・社会・英語などの知識や問題解決能力、活用型学力。教科横断的な学びで身につける力。(測定可能)

$\overline{A}$→A に含まれない能力、協調性、協働性、意欲、関心、計画性、継続性、社交性、自尊心など（測定難しい）

（「危機に対応できる学力」明石書店 2022 年）

次に非認知能力と認知能力を 4 分類してみました。たて軸を非認知能力（の量）、横軸を認知能力（の量）とします。



Ⅰは非認知能力、認知能力共に秀でているので、自学自習ができ、自己肯定感が高く、自分で自分の道を切り開ける可能性が高い。

Ⅱ非認知能力は高いが認知能力が今一つ。知識量は少ないが知的好奇心は旺盛。この場合は、きっかけがあれば、猛烈にチャレンジする可能性が高い。

Ⅲ非認知能力・認知能力ともに今一つの場合は、行政などが税金などを活用してフォローして学び直す機会を提供する。

Ⅳ認知能力が高くて非認知能力が不足していると、様々な問題行動をする人がふえ、社会が分断化する可能性が高い。学歴だけにこだわる、マウントをとることだけに夢中になる、株で一人勝ちを常に夢見ている、見栄で文化資本を豊かにしようとする、数え上げたら切りがない。

何かを学ぶ時、その内容が「わかる」ようになり、そしてそれを活用して「できる」ようにすることが重要であることは言うまでもありません。この時の学びが継続するには、非認知能力の意欲・関心・態度・計画性・持続性と関係があることは容易に想像できます。しかも「できる」という成功体験によって自己肯定感も向上します。非認知能力によって計測できる認知能力もふえ続けるのがⅠの領域です。一般的には学歴・経済力とも高い階層と思われます。

Ⅱは、非認知能力が高くても何らかの要因で認知能力が伸ばせなかった場合です。成人になって学び直してみたいと思っている市民のために、その場を行政が提供することが求められます。中間層が多く、日本の場合多くの善良な市民がここに属し、リカレント教育に関心を持っていると思われます。

図のⅢは何らかの要因で「わからない」「できない」状況が続いたので、非認知能力及び認知能力が不足していると考えられます。行政を中心とした経済資

本や文化資本の増強対策が求められます。Ⅲの貧困層の市民をバックアップすることは、人道的な面だけでなく、安心して住める市民社会が成立するためにも必要なケアであることは明白です。分断化した社会を緩和することが可能となってきます。

図のⅣは、社会を分断化する富裕層・高学歴層の存在が気になります。認知能力が高いと高学歴・高所得の割合が高いことがわかっています。しかし、非認知能力が不足していると様々な現象が起きます。家庭や学校で何かをきっかけにコンプレックスをもつと、協調性がなく協働で何かをなしとげるのが苦手、お金を稼ぐのは好きだけど夢中になれるものがなく、計画的に仕事はできない、しかも長続きしない、となってしまうことがあります。そのような市民は社会に出ると、挫折の連続に直面した時、自己肯定感はゼロに近くなってしまうのではないでしょうか。この自己肯定感を回復させるために、大学の授業で身につけたふつうの人があまり知らない用語を多用してマウントをとろうとすると、さらに周りから浮いてしまうことがあります。わかっているのに衒学趣味の底無しの沼からなかなか脱出できない、ヘイトスピーチをくり返す善良な市民も、この領域にいるのではないでしょうか。

社交的ではないので、社会関係資本をふやすことは難しく、人間関係がギクシャクしてくると、まず図のⅢの領域の経済的・文化的に恵まれない市民へ、SNS などを利用してヘイトスピーチをして、ストレスを発散しようとする人々が出てきます。弱者を追いつめることに快感を覚えるのでしょうか。Ⅰの領域で社会的に活躍している著名人（経済資本や社会関係資本に十分恵まれている）がもし不祥事を起こせば、その部分を拡大して、ストレス発散の標的をⅢからⅠへ移したりしています。インターネット上での誹謗中傷が、どこかで起こっているという報道を常に耳にします。最近では兵庫の知事選挙では、マスコミだけでなく、SNS 上でも炎上しているようです。

このように考えてくると、Ⅳの領域の市民を少数派にすることが、分断化した社会を縮小する方法の 1 つであることは明らかです。Ⅳに属している人をできるだけⅠに移動させるには、中間層が多いと思われるⅡや貧困層がいると思われるⅢに位置している市民も、庶民のリベラルアーツに関心を持つことが重要なカギになるような気がするのですが。

このような思いで書いたのが「知識・技能・教養を育むリベラルアーツ」です。以下、目次を書き並べておきます。

序章　世の中で求められている能力と知恵
日本の現状を考える / 戦後の教育の成功と失敗 /OECD の PISA って何？ /2024 年以降の教育はどうなっていくのか / 中学の主要教科と受験

第 1 章　日本の生活と文化
伝統工芸品 / 都市と農村の人口問題 / 食生活の変化 / 稲作を考える / 日本の農業を考える / 大都市の市街地化 / 地産地消のエコな社会 / 万葉集と日本の文化 / 都市の人口増加
第 2 章　日本の歴史を知り今を知る
江戸時代の蘭学とは？ / 大正時代の日本経済 / 江戸時代は旅する人がふえた / 日本の昭和初期の財政 / 鎌倉幕府と元軍 / 日清戦争 / 明治・大正の政治 / 朝鮮戦争と日本の復興 / 経済発展と都市と農村の格差

第 3 章　今の日本の経済を知る
～もの作りと消費の関係～
クレジットカードのしくみ / 製造物責任法 / 金融政策 / 経済と環境 / 国債の問題点 / 国債と景気対策 / 出版・印刷業と文化の関係 / 日本の産業構造 / 日本の終身雇用を考える / 価格と景気 / 経済発展と乗用車 / 食料生産とエネルギー問題 / 日本の農業の実態 / 株の公開と MBO/ 石油ショック時の日本経済 / バーコード・POS システム

第 4 章　日本の政治を知る
～住みやすい社会をつくる～
日本国憲法 / 民主主義を考える / 三権分立 / 議院内閣制を考える / 明治・大正時代の選挙制度 / 現在の選挙制度を考える / 二院制の利点 / 選挙と政治参加の歴史 / 社会保障制度 / 消費者の保護 / 地域の政治 / 労働者の働き方改革 / 女性の労働力率 / 非正規労働者 / 日本の雇用の問題点

第 5 章　未来の社会を考える
～持続可能な社会って何？～
バイオ燃料 / 日本の貿易相手国の変化 / 世界の食料問題 / 世界のコメと小麦の生産 / 世界の大豆の生産 / 発展途上の国ブラジル / 各国の気候 / 持続可能な社会 / 気候変動 / フェアトレードのチョコレート

第 6 章　地球規模の話
～グローバル化した社会を知ろう～
アメリカ合衆国の農業 / アメリカ合衆国の酪農 / アメリカ合衆国の交通 / アメリカ合衆国の貿易 / アメリカ合衆国の外国人労働者 / 日本と欧米諸国の経済発展史 / 世界恐慌時のイギリス経済 / 世界の人口問題 / 国際社会 / 日本と中国の経済を比べる / 各国のワーク・ライフ・バランス / 為替と観光 / 観光と GDP/EU と関税 / オーストラリアの貿易 / インドの援助 /APEC を知る / ナイジェリアの原油 / 南アメリカの国を考える

終章　豊かな人生を育むリベラルアーツとは
従来のリベラルアーツを考える / 今なぜ庶民のリベラルアーツなのか / 何が庶民のリベラルアーツなのか / 庶民のリベラルアーツのふやし方 / 庶民のリベラルアーツと学び方の関係 / 補論 1：庶民のリベラルアーツと関連する情報収集の方法 / 補論 2：紅茶と砂糖で社会を読み解く～フカボリの一例～ / 補論 3：文化資本の相互提供とシェアリング

プロフィール

1949年生まれ。前放送大学非常勤講師、教育社会学会会員、教育評論家学生の頃から小中高生を約40年教えて、10年ほど前から執筆、講演活動に専念。
主な著書
『学歴社会と塾』（新評論1993年）、『塾の力』（文春新書1999年）、『塾一学校スリム化時代を前に』（岩波書店2000年）、『活用型学力を育てる本』（ぎょうせい2014年）、『眠れなくなるほど面白い数学の定理』（日本文芸社2018年）、『眠れなくなるほど面白い数と数式の話』（日本文芸社2018年）、『大人に役立つ算数』（角川ソフィア文庫2019年）、『眠れなくなるほど面白い統計学の話』（日本文芸社2019年）、『持続可能な社会を考えるための66冊』（明石書店2020年）、『危機に対応できる学力』（明石書店2022年）、『文化資本とリベラルアーツ』（明石書店2022年など）

新刊紹介
『知識・技能・教養を育むリベラルアーツ
公立高校社会科入試問題から読み解く
社会の姿』
小宮山博仁著

塾なんでもん

9題目

学習よりも大切にしていること

長原　糸惠（のびのび学習教室）

自転車を歩行者に邪魔にならないように置く。普通のことが親子でできない今日このごろ。

午後４時、「よろしくお願いいたします」低学年と幼稚園児のクラスの生徒がきちんと挨拶を。体を斜めにまた、頭がきちんと下がっていない生徒は「はい、やり直し」。

普通のことから指導をしていくのが「のびのび学習教室」の指導方針です。

着席をしたらまず、自分用のごみ箱を裏紙でおります。折れるようになるのに１か月かかる子もいます。しかし、自分で折れた時のあの笑顔は、最高です。次に 10 問漢字テスト。

その後各自の課題を学習します。

長原の実家は、昭和 35 年から食品小売業を営んでおりました。その後、個性豊かなお店へと展開し、今では普通であるポップを作成しお客様が足を止めて、買いたくなる店づくりを心掛けました。多くのマスコミの取材もありました。

ある日、母子家庭のお子さんの英語指導を依頼されボランテイアで指導しているうちに何故か生徒が集まってきてしまいました。6 畳一間の部屋では狭くなりお店を閉めて学習教室へと転職をいたしました。小売りをしていた時と同じように何が子供たちに必要か、何をしてあげなければいけないかを常に頭のてっぺんに置いていました。

そうです、挨拶から生まれる「笑顔」。「笑顔」から生まれるコミュニケーション。それを大切に今でも指導しています。「わかった！」を生む

手をかけず　目をかける　これがのびのび学習教室です。

美容院での会話、30 代のお母さんが「うちの子、ゲームを全く知らない人とやっているのよ。すごいでしょ。時代よねえ」。あっ。怖い時代に突入している。保護者の意識についていきながら保護者を子供のために良かれとなる道へと導かなければいけない塾にのびのび学習教室は、今後なっていきます。いいえなります。

現在 76 歳、自動車免許の更新前に認知機能検査を受けなければなりません。絶対満点を取りたい！毎日模擬テストで練習をしています。そんな私を見て「何歳になっても勉強だね」小学４年生に言われてしまいました。

「糸惠先生、いくつまで勉強するの？」

100 歳まで指導ができたらと、その為には心と体が健康でいなければなりません。今までと同じように好きなことだけをやらせていただきます。それが健康の秘訣だからです。

プロフィール

1948年3月東京都目黒区生まれ
趣味　5匹の犬と戯れる
セントポーリアを愛でる

SEISA

広域通信制・単位制・普通科
星槎国際高等学校　大宮キャンパス

星槎グループ
直営校

通学制の通信制高校　体験的な授業や行事がたくさん!

キャリアデザインプログラムで職業体験、芸術体験、人間形成体験(レク)!
3年間まるごと進路学習!仲間と体験しながらだから楽しく学べる♪
輝きゼミでスポーツや芸術、学習の力を伸ばそう!みんなにアンケートをとって
授業を開講。同じ趣味の人が集まるから友達ができる♪
部活もあるよ♪運動部、文化部、ﾎﾞﾙﾀﾞﾘﾝｸﾞ部、ﾋﾞﾘﾔｰﾄﾞ部、e-ｽﾎﾟｰﾂ部、他多数!

土曜日は体験入学へ♪

完全予約制

学校説明会　午前：10:00-11:00
　　午後：13:30-14:30

体験授業　午前：11:00-12:00
　　午後：14:30-15:30

※内容は本校HPをご覧ください。

25年度入試

個別相談　学校説明会後または体験授業後

星槎国際高等学校大宮キャンパス
Tel.048-661-1881 Fax.048-661-1883
〒331-0802　さいたま市北区本郷町258-1
JR宇都宮線土呂駅下車西口より徒歩8分

転編入説明会・個別相談(高等部)
随時開催(平日：10:00～16:00)
◎ 事前予約制 ◎ お電話でご予約ください。
TEL 048-661-1881

星槎大宮HP

星槎プラチナフリースクール(フレックス型)/星槎学園中等部(全日型)も開設しています

大学附属のメリットを活かしつつ、
国公立、難関私大をめざす進学校！

学校法人東洋大学

東洋大学京北中学高等学校

〒112-8607　東京都文京区白山 2-36-5　TEL 03-3816-6211
都営三田線「白山駅」徒歩6分　メトロ丸の内線「茗荷谷駅」徒歩17分
メトロ南北線「本駒込駅」徒歩10分　メトロ千代田線「千駄木駅」徒歩19分

高校Web出願
中学Web出願

「共有地の悲劇」に学ぶ

浅沼　渉（専門学校東京ビジネス外語カレッジ・学習塾ファインズ講師）

The Insights from “The Tragedy of the Commons”

1. Introduction

Individual freedom is a fundamental human right enshrined in the Constitution. However, this does not imply absolute liberty without constraints. Such unrestrained freedom would lead to societal collapse. Therefore, individual freedom is recognized with the caveat that it must not infringe upon the public welfare.

In this article, we will explore the consequences of unrestricted freedom using Garrett Hardin´s renowned “The Tragedy of the Commons” as a case study. We will then delve into potential solutions to this problem and consider how the insights from “The Tragedy of the Commons” can be applied to contemporary environmental challenges.

2. What is “The Tragedy of the Commons”?

Imagine ten shepherds each owning ten sheep, creating a balanced situation.

If the trade price per sheep is 1 million yen, each shepherd earns 10 sheep×1 million yen＝10 million yen.

Now, if one of the shepherds, Shepherd A, thinks they would profit more by increasing the number of sheep and decides to keep one more sheep, what would happen? The nutritional status of the sheep worsens, and the trade price decreases. If the trade price decreases by 20,000 yen for each additional sheep, the new price per sheep would be: 1 million yen－20,000 yen＝980,000 yen. Even though the price per sheep decreases, Shepherd A´s total revenue increases because 980,000 yen×11 sheep＝10.78 million yen, which is higher than 10 million yen.

Likewise, other shepherds will also start increasing the number of sheep. When ten more sheep are added in total, the nutritional status of the sheep further worsens, and the trade price per sheep drops even more. Now, if the price decreases by 20,000 yen for each additional sheep, the price per sheep would be: 1 million yen－(20,000 yen×10 sheep)＝800,000 yen.

In this case, each shepherd’s revenue would be: 800,000 yen×11 sheep＝8.80 million yen, which is lower than the initial revenue of 10 million yen.

Let’s look at the entire pasture. Initially: 10 sheep×10 shepherds×1 million yen＝100 million yen. This drops to: 10 shepherds×11 sheep×800,000 yen ＝88 million yen.

Thus, if all shepherds start increasing their sheep, it leads to a disaster.

This is called “The Tragedy of the Commons.”

Generally speaking, there are two primary solutions to the “The Tragedy of the Commons”: Government Intervention and Market-Based Solutions. Government Intervention involves government regulation. For example, the government could limit the number of sheep each shepherd can graze on the pasture and impose fines for violations. Market-Based Solutions involve assigning property rights. By dividing the pasture into privately owned plots, individuals or businesses will have an incentive to manage their land sustainably.

3. Applying “The Tragedy of the Commons” to Contemporary Environmental Challenges

The polluted atmosphere, laden with greenhouse gases, parallels the pasture in “The Tragedy of the Commons.” If Country A increases its greenhouse gas emissions, it reaps economic benefits. However, as other countries follow suit, the collective impact exacerbates global warming, leading to a vicious circle.

In general, there are two primary approaches to addressing environmental challenges. One involves Government Intervention, such as implementing regulations on carbon dioxide

emissions and imposing penalties on non-compliant countries. The other approach relies on Market-Based Solutions, which entails establishing property rights over the natural environment, like the atmosphere, and creating a market for trading emission allowances.

4. Beyond the maximization of profits

Arthur Pigou advocates for taxes and subsidies to correct market failures. However, government intervention in the market can lead to bloated bureaucracy, which poses a threat to a liberal economy. In contrast, Ronald Coase argues that by clearly defining property rights for businesses and allowing them to negotiate compensation, socially efficient production can be achieved without government intervention.

Indeed, if costs outweigh benefits, businesses will naturally avoid incurring those costs. Conversely, if benefits exceed costs, businesses may be willing to bear the costs in pursuit of profits. In this sense, addressing environmental issues is a corporate social responsibility, and businesses must be keenly aware of their obligation to fulfill this responsibility, even at the expense of its profits.

5. Conclusion

Unrestrained freedom leads to “The Tragedy of the Commons.” To address this problem, we have explored both Government Intervention and Market-Based Solutions. Similarly, when applying “The Tragedy of the Commons” to contemporary environmental challenges, we again encounter these two approaches, neither of which is a perfect solution.

Milton Friedman, a renowned economist, argued that a company’s primary social responsibility is to maximize its profits. However, this narrow perspective can lead to situations where prioritizing profit necessitates unethical behavior or neglects important social and environmental responsibilities. The point is how businesses can integrate social responsibility into their practices, even when it may impact their bottom line.

「共有地の悲劇」に学ぶ

1. 序論

個人の自由は憲法で保障された基本的人権の一つである。しかし，それは誰もが無制限に自由に振舞っていいということではない。もしそうだとしたら，社会が成り立たなくなってしまうであろう。だからこそ，個人の自由が認められるのに「公共の福祉に反しない限り」という制約がついているのである。

本稿では，ギャレット・ハーディンの有名な「共有地の悲劇」を手掛かりに，野放図な自由がもたらす帰結について検討し，その解決策を探ってみたい。また，「共有地の悲劇」が，今の環境問題に与える示唆についても考えてみたい。

2. 「共有地の悲劇」とは何か

今，10人の羊飼いが10頭の羊を飼っていて，それがちょうどよい状態になっている。

このとき，1頭当たりの取引価格は100万円だとすると，どの羊飼いも100万円×10頭＝1000万円の売上がある。

そのため，ある一人の羊飼いAさんがもっと多くの羊を飼えばもっともうかると考えて，もう1頭飼ったとするとどうなるか。

羊が1頭増えたことで，羊の栄養状態は悪くなり，取引価格は下がる。1頭増えるごとに取引価格が2万円ずつ下がっていくとすると，1頭の取引価格は，100万円－2万円＝98万円になるが，100×10＝1000万円よりも，98×11＝1078万円のほうが大きくなる。

したがって，1頭の取引価格が下がっても，Aさんにとっては，1頭多く飼ったほうが売上は伸びるということである。そのため，他の羊飼いたちも1頭多く飼うようになる。

今，1頭増えるごとに取引価格は2万円ずつ下がるから，取引価格は1頭当たり，

100－(2×10)＝80万円になる。そうすると，売上は，

80×11＝880万円だから，最初の売上1000万円よりも落ちてしまう。

この牧草地全体でみても，売上は，

10×11×80＝8800万円だから，最初の売上10×10×100＝1億円よりも減ってしまう。だから，みんなが羊を多く飼いはじめたら，共有地全体が荒廃する。

これが「共有地の悲劇」である。

「共有地の悲劇」の解決策について，一般的には，政府が介入する方法と市場原理に委ねる方法がある。政府が介入する方法では，政府が牧草地の利用に対して，一人の羊飼いが牧草地に放牧できる羊の頭数を制限するなどの規制をしたり，違反した人には罰金を科したりする。

市場原理に委ねる方法では，牧草地を私有地に分割し，それぞれの区画を個人や企業に所有させることで，所有者が自分の区画を持続可能に管理する。

3. 「共有地の悲劇」の環境問題への適用

「共有地の悲劇」を今の環境問題に適用するとどうなるか。温暖化ガスが汚染する大気は，共有地の牧草に相当する。羊飼いAさんが飼う羊を1頭増やすとAさんの利益が増えるため，他の羊飼いも同様に羊を増やし，その結果として牧草地の荒廃が進むのと同じように，A国が温暖化ガスの排出量を増やすと，A国の経済的利益が増大する。その結果，他の国々もそれに追随して温暖化ガスの排出量を増やし，地球温暖化がさらに進むという悪循環が生まれる。

この問題の解決策としては，一般的には以下のような方法が考えられる。一つ目は，権力の介入による方法で，例としては二酸化炭素の排出量に規制を設け，それに違反した国には罰則を科すことが挙げられる。二つ目は，市場原理に委ねる方法で，大気という自然環境に一種の所有権を設定し，各国の二酸化炭素の排出枠の過不足分を売買することが考えられる。

4. 利潤の最大化をこえて

アーサー・ ピグーは，市場の失敗に対して，政府が対策を講じなければならないとして，税金や補助金の導入を主張した。しかし，政治権力の市場への介入は，大きな政府をもたらし，自由主義経済を脅かす危険性もはらんでいる。それに対して，ロナルド・コースは，企業に環境権を認め，企業間で補償金の交渉をすることによって，政府の介入なしに，社会的に効率的な生産が実現できると主張した。

確かに，損失が利潤を上回る場合は，もちろん企業は損失を負担することを避けるであろう。しかし，利潤が損失を上回る場合は，損失を負担してでも利潤を追求するということも考えられる。その意味で，企業は，環境問題の解決が企業の社会的責任の一つであり，場合によっては，利潤の最大化をこえて企業が果たすべき責任であることを強く自覚する必要がある。

5. 結論

野放図な自由は「共有地の悲劇」をもたらし，その解決策として，政府の介入による方法と市場原理に委ねる方法を見た。次に，「共有地の悲劇」を今の環境問題にも適用し，やはり，二つのアプローチを見たが，いずれの方法も解決策として十分と言えるものではなかった。

著名な経済学者であるミルトン・フリードマンは，企業の社会的責任は利潤を最大化することであると主張した。しかしながら，この狭隘な見解は，利潤の優先によって非倫理的な行為が誘発され，環境などの重要な社会的責任が閑却される状況に導く。ポイントは，いかにして企業が，利潤を犠牲にしても社会的責任をその慣習に取り入れることができるかであろう。

雑感

「共有地の悲劇」は，大学入試の小論文や英語資格試験のエッセイなどでしばしば出題されるが，最近の傾向からして，中・高入試でも教科を問わず出題されておかしくないテーマで，予想問題に値するであろう。本稿での結論が誤解を招かないように付言しておくと，公共の福祉のために個人の自由を制限すると言うと，よく，「少数者を犠牲にしても社会全体の利益を優先する」というように功利主義的に解釈されることがある。また，社会全体の利益のために払う自己犠牲が過度に美化されることもある。しかし，義務論的な観点からは，一人ひとりの自由・生命・財産は分け隔てなく平等に尊重されるべきものであり，公共の福祉というのはあくまでも個人の人権が衝突した場合に調停するための原理にすぎない。その意味でも，個人の自由が公共の福祉の名のもとに過剰に制限されることのないようその運用にあたっては十分慎重にならなければならない。

プロフィール

日本の大学・大学院で修士課程を修了後，アメリカの大学院に留学，数学の哲学の分野で博士号を取得。数理哲学だけではなく，倫理・社会思想にも関心がある。著書に，Problems about the Axiom of Choice: In Defense of Platonic Realism in Mathematics (Lambert Academic Publishing) [邦題：数学におけるプラトン的実在論の擁護：選択公理に関する諸問題]，論文に，A Deontological Approach to Business Ethics : Beyond Maximization of Profits (CGPublisher) [邦題：ビジネス倫理への義務論的アプローチ：利潤の最大化を超えて] 等。

令和6年度大学入試
現役合格率 98.3%

国公立大学 47 名合格
東北大学、山形大学（医）、筑波大学など

日本大学…… 425 名合格
他難関私立大学等… 253 名合格
医歯薬看護獣医系…… 39 名合格

～夢を叶える “新”クラス制度 ～
1．「やりたいこと」を追求するクラス選択制
2．難関大学の受験に対応する
充実したカリキュラム
3．付属高校の特典を活かした
日本大学への推薦入学

佐野日本大学高等学校
栃木県佐野市石塚町 2555 番地 TEL.0283-25-0111㈹

学校説明会／個別相談会
要WEB予約
第1回 9月 7日（土）
第2回 9月28日（土）
第3回 10月26日（土）
第4回 11月 2日（土）午前/午後
第5回 11月17日（日）午前/午後
第6回 11月30日（土）午前/午後

IWAKURA
EXPAND YOUR WORLD. BY IWAKURA SPIRIT

【インターネット出願】
HOME > 最新情報 > 入試情報 > 【入試情報】より
手順をご確認いただき、決められた期間内に出願を行ってください。

2025年度募集要項・提出書類は
ＨＰよりダウンロードできます。

岩倉高等学校［最寄り駅は上野・共学校・普通科・運輸科］
〒110-0005 東京都台東区上野７－８－８

株式会社SYM 〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-1 横山ビル1F TEL03-5478-7066

百済・新羅から大和国へ

布浦　万代（万葉集研究家）

2024年10月、万葉集と深い関わりのある1300年前のかつての百済（現在の扶余郡）・新羅（現在の慶州市）を初め、韓国の６つの古代都市と２つの大学を訪問した。

百済と新羅の地は２度目の訪問である。今回は20年来の交流がある国立全北大学の教授がご案内してくださった。アメリカのニューヨーク大学から本国に戻られたばかりの教授には、１週間と言う案内の日にちを設定するのは大変だったに違いない。しかし、教授は非常に細かく日程を組んでくださった。お陰で観光旅行では行けない貴重な韓国の地を北から南の地へと車でご案内して頂いた。教授ともう１人私の韓国の友人と３人同行の旅であった。

特に印象深かった訪問の地を記してみたい。坡州（パジュ）市は、板門店のある軍事境界線（38度線）を隔てて北朝鮮と接する最前線の DMZ（非武装地帯）がある唯一の市である。ゴンドラに乗り、真下にイムジン河を見ながら烏頭山展望台に登る。展望台から見える北朝鮮は蛇行して流れるイムジン河を挟み有刺鉄線の向うに意外と近くに見える。晴れた日には北朝鮮の人が歩くのが見えるという。展望台の近くに米軍基地もあり緊張感を少なからず感じた。朝鮮戦争は国を南北に分断したが、未だ戦争は休戦中で終戦には至っていない。現在、韓国の成人男性には兵役義務があり、19歳になる年に徴兵検査を受け、28歳の誕生日を迎えるまでに入隊が義務づけられているとのことであるが、教授も若い時この徴兵制度に入隊したとのことであった。

かつてザ・フォーク・クルセダーズが歌った「イムジン河」を思い出した。

①イムジン河水清く　とうとうと流る
　水鳥自由にむらがり飛びかうよ
　我が祖国南の地　おもいははるか
　イムジン河水清く　とうとうと流る

②北の大地から南の空へ　飛びゆく鳥よ
　自由の使者よ　だれが祖国を
　二つに分けてしまったの　誰が祖国を分けてしまったの

③イムジン河空遠く　虹よかかっておくれ
　河よおもいを伝えておくれ
　ふるさとをいつまでも　忘れはしない
　イムジン河　水清くとうとうと流る

何度聞いても感動し、そして胸が痛む歌である。翌日、ソウル市を経て龍仁（ヨンイン）市にある「韓国民族村」を訪ねた。ここは朝鮮半島に古くから伝わる生活様式や歴史を学べる野外施設があるテーマパークである。広大な敷地を歩いていると、目を見張ったのが古民家である。屋根は藁で葺（ふ）かれ、家の外側の土壁には吊るされ沢山のとうもろこしが干されていた。そして傍には牛に引かせて田畑を耕す犂（すき）が置かれていた。かつて日本の農家でも見受け

られた風景である。動力耕耘機が普及する1960年代まで広く使われていたと言われている農機具であるが、朝鮮半島や中国から日本に伝来したもので唐犂（からすき）と呼ばれる田畑を耕す道具である。つくば市の資料館で見たことがある為か懐かしさを覚えた。一巡し帰ろうとしたら、ここで結婚式も挙げられるらしく、古典民族音楽隊を先頭にこちらにその一行が行進してきた。すぐ後には美しいチマジョゴリを着た沢山の若い女性たちが踊りながら行列でやって来た。続いて新郎が伝統的な韓服を着て馬に乗り、新婦も古式豊かな美しい韓服を着て篭に乗ってやって来た。まるで映画のワンシーンを観ているようであった。そして道の両側にはたちまち大勢のギャラリーが集まり、新郎、新婦の写真を撮るのも儘ならない状態であった。今でも若い人たちが伝統文化を守り、自分の門出を多くの人に祝って頂いていることに驚きを禁じ得なかった。因みに教授に伺ったところ彼も伝統的な韓服で挙式したとのことであった。あの緊張感のある DMZ の坡州（パジュ）市とは、格段の違いがある龍仁（ヨンイン）市であった。また、ここは日本でお馴染みの「チャングムの誓い」や「イ・サン」「善徳女王」「トンイ」などの人気ドラマもここで撮影された所である。目指す百済・新羅にはなかなか到着しそうにないが、次号は待ちに待った百済へと駒を進めたい。

プロフィール

＊萬葉学会会員
＊万葉集・まほろばの会」主宰
＊アメリカ・ホノルルで万葉集を講演
＊国連（スイス・ジュネーブ）で万葉集を講演
＊アメリカ・ボストンで万葉集を講演
＊茨城県民大学万葉集講師の他、各地の講師

家紋作りに挑戦

大水　秀樹（東星学園中学校高等学校）

今回は中学１年生で学習する線対称・点対称の学習教材の紹介です。きっかけは学校に送られてくる武道具のカタログでした。以前は剣道部の顧問をしていた時期があり、そのために武道具のメーカーから新入生用・卒業記念用などのカタログが良く届きました。剣道の場合は面・胴・小手を購入するのですが、凝ったものですと胴に家紋を入れるものがあります。その家紋が今回の学習教材のヒントとなりました。胴に入れることができる家紋は実に 250 種類もありました。それぞれに名前がついており、一つひとつ眺めればその紋様にも意味があって「なるほど！」という感じです。さらに細分化されてもっとたくさんの家紋が存在するようです。

授業で準備するのは、そのカタログを参考にして作った「家紋一覧表(家紋作りに挑戦)」と「記入用紙」となります。授業では、まず私の描いた家紋(見本)を見せました。「徳川家三つ葵」という水戸黄門にも出てくる家紋なので、中には知っている生徒もいます。「へー」などの低い反応です。ですが、「今日はこの中から一つ選んで描いてください」と言って「家紋一覧表」を見せると初めて目にするたくさんの家紋に「うわー(汗)」の声です。生徒たちはその中から一つ選んできれいに描き、その家紋が線対称なのか点対称なのか、また線対称の場合は対称軸が何本あるかを記入して提出となります。

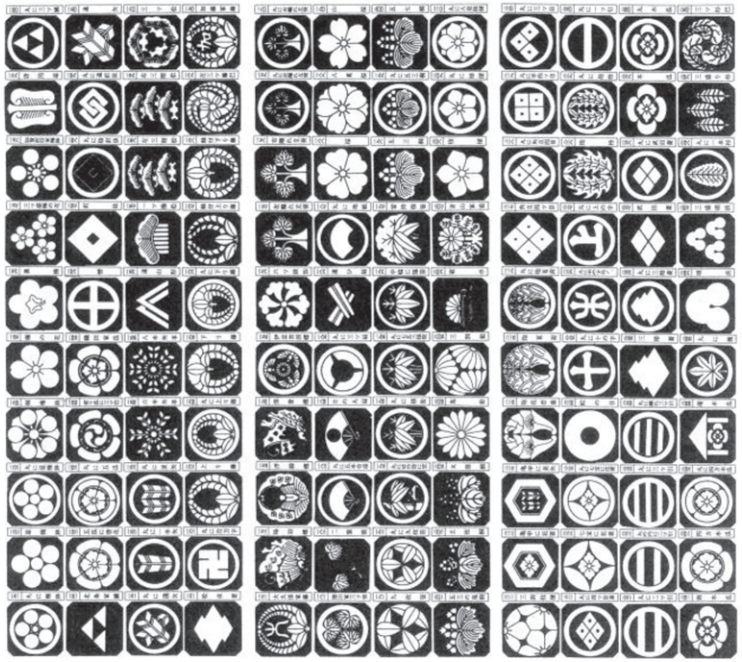
生徒の持ち物は色鉛筆・コンパスとなります。選んだ家紋によっては円が含まれているものがあります。こういった家紋は「どこに円の中心をとればくればうまく描けるか」ということも学習になります。花の模様や、植物、虫、鳥、さらに複雑なものにも規則があるなど学ぶことが多々あると言えるでしょう。記入用紙の中には中心になる点、また正五角形が必要な生徒のためにその頂点を打っておきました。

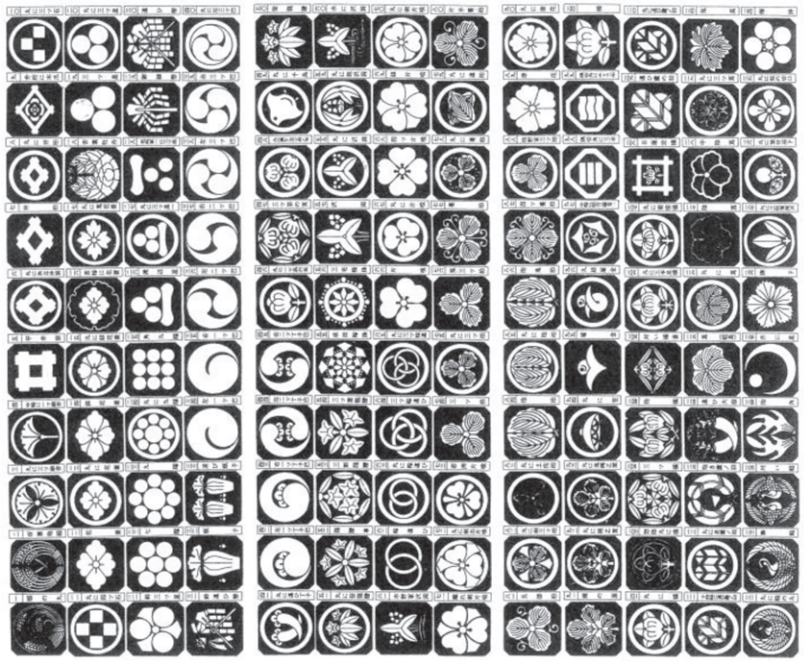
さて実際の授業では、あらかじめこちらでいくつか見本を描いておいて見せると効果的です。その際にも先輩の作品があるといいですよね。やはり先輩の描いた作品を見せると「～先輩はこれ書いたんだ！」や「この作品すごいキレイ！」などとやる気が出てきます。植物や虫が含まれる家紋を選んだ生徒からは「カラーにしてもいいですか？」という質問が出てきます。カラーにした方が展示も華やかになります。金の家紋もかっこいいですよね。もちろん OK です。

最後に描きながら線対称・点対称などの本数を記入して完成です。たくさんの家紋に触れることができて楽しい色塗りの１時間になります。ぜひ実践してみてください。

なお、今回の家紋一覧表は武道具メーカーのカタログをコピーして作成したものとなりますので画質は劣ります。文字も小さくて読み取れないかと思います。実際に家紋が出ている武道具カタログを参考にされるか、インターネットで「家紋一覧」を検索するとたくさん出てきます。これらを参考にしてください。

家紋作りに挑戦





家紋作りに挑戦

年　組

番

この図形は

・線対称な図形　（対称軸　　本）

・点対称な図形

・どちらでもない

少子化と教育資金

由紀　草一（元茨城県公立高校教諭）

かなり前から、重要な政治的イシューとして、少子化が世界的な話題になっている。

ロシアではチャイルドフリー（子どもなし）を奨めるＳＮＳ記事を禁止する法律がじきに成立しそうだ。チャイナは35年続けた一人っ子政策を2015年に廃止して、今や「子どもは三人産め。それが国家のためだ」なんて言っているとのこと。

いかに独裁国家でも、こんな話を素直に聴く人はそういないだろう。子どもをいつ作るか、何人作るか、それは、普通は夫婦の、カップルに委ねるしかない。これは大原則である。自由主義とか個人主義とかの、主義主張の問題ではない。子どもの養育は両親が最終責任を負うしかない、という単純な事実からして、そうなる。

例しにこういうことを考えてみよう。「自分は子どもなんて欲しくない。しかし、それでは国のためにならないから、産んで育てるんだ」なんて言う母親に子どもを育ててもらいたいか？　私は御免だ。

イスラエルのキブツや日本のヤマギシ会のように、家族ではない大集団で子どもを養育する例もあるが、それは即ち家族の解体を意味する。それが好ましいと思う人はそんなに多くはいないだろう。

などなど、世界中で多くの人が真剣に悩んでいる、かどうかはよくわからないが、少なくともそう見せてはいる問題なのだが、翻って考えると、少子化というのは、本当に悪いことなのだろうか？

すぐにわかるデメリットは、いわゆる高齢化社会になると、生産に従事する年齢層が薄くなって、経済が行き詰まる、というもの。しかしそれが、ロボットやＡＩの発達によって（いわゆる技術革新によって）、これまで必要とされた人間の労働力が減少しても、生産性はかなりの程度保持できるとしたら、壊滅的な事態は避けられるのではないか、と考えられる。いや、楽観的すぎるかも知れないが……。

それに第一、人類の歴史を考えると、今の状態は異常とは言わないまでも、かなり特殊で、しかも急激にこうなったのである。

「1950年におよそ25億人だった世界の人口は、2000年にはおよそ61億人と、この50年の間に2.4倍に増加した。現在は、1.2％の割合で年間7700万人増加している。（中略）2050年までに、世界人口は、国連の中位推計で93億人に達するものと予想される。」（『国土交通白書平成14年度』）

だから地球全体では、人口増こそ依然として問題なのである。

そこで、両者を含めて最適な状態を考えると、現在の文明の状態を保つため（今更農耕社会にもどるのは、私のためにも、私の子孫のためにも望まないので）には、

①労働力不足を補うＡＩ技術の開発発展

②その技術革新の成果を現在の開発途上国にも及ぼす

ことを目標とすべきであろう。

そこから逆転して考えると、地球全体での出生率1.8程度の、緩やかな少子化こそ望ましいのではないだろうか。

それでもやっぱり、日本の平成５年度の合計特殊出生率（1人の女性が産む子どもの数の指標となる割合）は昨年1.20（厚生労働省調べ）というのは少なすぎるようだ。有効な方策はあるのだろうか。

「経済的な不安があるから、思うように子ども

を作れないんだ」という夫婦は多いのだから、政府にできることは、そういう外部的な条件を、なるべく子どもを増やすことが有利になるように、少なくとも不利はなるべく減らすように、整えることだろう。というか、外部からの有効な働きかけとしては、それしかない。

しかし、ここには抑えておくべきポイントがある、と思う。何も特別なことではない。漠然とならば誰でも知っていることだが、教育問題に触れるので、あまり露骨に語るのは憚られるような雰囲気があり、うっかりしていると、百田尚樹氏のような、見当外れの暴論を言うことになってしまいかねない。

以下、ネット上で手に入る統計数値をなるべく細かく挙げて、実態をみていこう。

まず家族を作る大前提に関わる晩婚化・未婚化問題。

社会保障・人口問題研究所の「出生動向基本調査」令和３年度（18〜34歳未婚男女者対象）によると、「いずれ結婚するつもり」の男性は81.4%（前回85.7%）女性は84.3%（前回 89.3%）で、「一生結婚するつもりはない」男性17.3%（前回12.0％）女性14.6%（前回8.0％）を大きく上回っている。

ただ結婚願望は前回の調査（５年前）より減ってはいる。そしてまた、実際の婚姻数もそうなっている。昭和47（1972）年の約110万組をピークとして、平成12（2000）年からは減少傾向が続き、昨年はついに50万組を割り込んだ（約47万組。こども家庭庁調べ）。

なぜ結婚しないのかについては、24歳までは「結婚するにはまだ若すぎるから」が男女ともに40％台で最も多い。25歳以降は「適当な相手にまだめぐり会わないから」が男性43.3％（前回45.8％）女性48.1％（前回51.2％）が最高になる。しかし男女双方で前回より僅かに割合が減っている。その代り、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」「異性とうまくつき合えないから」が少し増えている。「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから」は、男性14.3％（前回17.9％）女性14.4％（前回19.1％）で、むしろ減っている。

これらをまとめると、結婚が家同士の契約関係の面が薄れ、実際に本人同士の決意のみに拠るとなると（日本国憲法第二十四条「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない」）、ある特定の異性（適当な相手）と夫婦関係になることは新たな家を作ることに他ならず、そのための決意が、そして、そのように決意する「理由」が必要になるのだ。そう感じられること自体が、結婚の敷居を高くする。

改めて考えてみれば、それまで他人だった者とずっといっしょに、新たな生活を築くというのは、かなり途方もない試みだとも言える。

一方で、一生独身、というのもまた、重大過ぎる決意で、そうする理由もまた、簡単には見つからない。人は依然として、家庭を持って生きるのが普通だと一般に考えられている。その「普通」を捨ててまで打ち込むべき仕事や学問研究がいつでも、いつまでもある人のほうがごく稀だろう。

この社会通念のみが、今のところ結婚難に歯止めをかけている。

というのはさすがに汚く言い過ぎであって、未婚男女が結婚のメリットとして、「自分の子どもや家庭をもてる」が男性31.1％（前回35.8％）女性39.4％（前回49.8％）で、減ってはいるが、かなり上位を占めているのは当然でもあり、良いことだと言うべきだろう（因みに、女性では結婚する理由中これが第一位。男性では「精神的な安らぎの場が得られる」33.8％に次ぐ第二位。これは男性のほうが、「安らぎの場」としての家庭が、タダではないにしろ、より楽に手に入ると思っている証左であろう）。

そして、結婚後の夫婦が持ちたい子ども数（平均理想子ども数）としては2.25人（前回2.32人）だが、実際問題を考えた場合の子ども予定数は平均2.01人（前回と同じ）になっている。

この差はどこから来るか。「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」という理由が52.6%でダントツである。これが、妻が35歳未満の、最も

出産が期待される若夫婦に限ると77.8％で、大多数となる。少子化解消を政治課題とするなら、ここにこそ焦点を合わせるべきであろう。

日本の教育費は高い、というのは有名であり、個人的に20年ほど前に、外国人にも「そうなんだろ？」と訊かれたことがある。「子どもを一人、一人前にするのにだいたい1,000万円かかるんだろ？」と言う日本人もいた。すると三人なら3,000万円。おいそれと子どもは持てないと思うのも無理はない。

この金額はそんなに間違っていない。文科省の「令和３年度子供の学習費調査」によると、幼稚園から高等学校まで、すべて国公立へ通った場合の学習費総額は574万円、すべて私立だと1,838万円で、ここに今や６割以上が進む大学など上級学校の資金が加わる。

問題はその中身である。公立小中学校では授業料は無償、学校内でかかる費用は制服代や教材費、部活動などの費用で、学習費にかかる費用は年間、小学校で18.7％、中学校で24.6％に過ぎない（給食費は別）。小学校で70.2％（約25万円）、中学校で68.4％（約37万円）が、塾や習い事など、学校外の費用に充てられている。なお、私立だと、小学校の学校外活動費は、割合は39.6％で少ないが、金額の平均66万円で、公立の三倍近くになっている。私立小学校は学費も高い（総額約961万円）が、校外活動にも多くの金額をかけるということで、子どもを私立の小学校に入れるのは富裕層の特権だと感じられるのも無理はない。

そして幼稚園。文部科学省の管轄だから（保育園は厚生労働省）学校ではあるのだが、義務化されているわけではない。子どもを行かせなくても、制度上問題はないということだ。しかし現在、どちらにも行かせない、というのは、未就園児という言葉もできたぐらい特殊で、令和５年のこども家庭庁設立準備室の発表では1.8％（5.4万人）がそうだという。

そして現在、３歳から就園する３年保育が主流を占めている。これは地域にも拠るが、せいぜいこの20年ほどの傾向であって、例えば私自身は

幼稚園に３ヶ月ほど通ってなんとなく行かなくなった話を、軽い調子で、小さい頃父母からされていた。

そして国公立と私立の別だと、圧倒的に私立が多い。幼稚園は学校数で69.7％、在園者数で88.2％が私立だ（令和６年度学校基本調査による)。その費用は前掲の調査で平均135万円。これが多くの場合、「当然のこと」として教育費の中に含まれる。

これは近い将来変ることが見込まれる。公立高校の授業料は昨年までは収入の条件付きで無料だったが、東京都や大阪府では、今年度の入学生から、私立を含めて、実質すべて無償となると同時に、就学前の幼児教育も無償にすることになっている。

これらの施策が無意味とは言わない。政府は、この点ではかなり懸命に、少子化最大の原因である「教育にお金がかかり過ぎる」情況を改善しようとしていると評価すべきであろう。その上で、我ながら厭な予測を申し上げるのだが、これは無駄ではないにしても、決定的な方向転換の効果はそんなにあるとは思えない。

理由を手短に言えば、子どもの教育は個々の家庭の事業として行われるからだ。この事業の最終目標は、自分の子どもの社会的な成功である。一流企業や上級公務員がそのわかりやすい例。その他、芸術芸能やスポーツの分野で成功する人はいわゆる学習の分野よりずっと少ないが、それでも「子どもの隠れた才能を引き出す」ために習い事をさせる親は少なくない。そのための学校外活動費が、前述のように、公立小学校で248万円、私立で661万円なのである。

日本人は子どもの教育に金を惜しまない、ともよく言われるが、目に見えない才能を引き出し、伸ばす、ことのためにはどれくらいの金額が必要なのか、誰にも言うことはできないであろう。それを賄う財力があるなら、限界は、子ども自身の時間と体力にしかない。我が子にずいぶん無理をさせているな、と思える親はしばらく前から決して少なくない。

問題は、このような傾向が、社会の隅々にまで及ぶ、ということである。今後見込める夫婦の年収が、上に見たような教育費を賄うには不安だ、と思えたら、結婚する理由は確実に、一つはなくなるであろう。そこは妥協して、我が子が、社会の上位層に入れないのはしかたないとしても、人並み以下は耐えられない。そこで、幼稚園にも入れるし、塾にも行かせる。第一、ほとんどの子がそうするなら、これをやめたら他の子どもたちと一緒に遊べないのだから、もう選択の余地はない

そして、このような情況では、公立学校の質の向上などには、ほとんど魅力が感じられないであろう。そこは、誰でも入れる、というか、私立学校にも行かないとしたら、入らなければならない場所だ。ないのは困る、なぜなら、子どもを昼間どこへ置いたらいいのか分からなくなってしまうから（その理由で、保育園はかなりの地域でまだ増設が望まれている)。

そして学級崩壊の無秩序状態はさすがに困るが、そうでなければ、何か一定のことを生徒に強制し過ぎるのはむしろ迷惑だ。義務教育ではないが、今や進学率が98.8％に達して、行くのが当り前になっている高等学校では、「勉強をしないからという理由で留年や退学させるなんてひどい」と、普通に言われるようになっている。

最後に、この分野でも参照すべき数値を挙げておこう。ＯＥＣＤが2022年に発表した公財政教育支出（国の総支出のうち教育のために出している部分）は、対ＧＤＰ比だと、ＯＥＣＤ37カ国の平均4.3％のところ、日本は3.0％で、36位である。もちろんＧＤＰ世界第四位の国なのだから、金額では小学校から高校までの生徒一人あたり年間約12,500米ドル（１ドル150円として約188万円）支出していることになり、これはＧＤＰ各国平均12,000ドルよりは高い。が、日本は全体として公教育にお金をかけているほうだとは言えない。

そのことの結果が一番顕著なのは学級規模、つまり一クラスの生徒数である。ＯＥＣＤの平均は21.1人のところ、日本の公立小学校は平均27.2人で、ＯＥＣＤ諸国中イギリスと並んで第二位の人数になっている。

諸外国に比べて日本のクラスの生徒数は多すぎることは、私が教員になった40年ほど前から話題になっていた。しかし昭和55（1980）年から平成３（1991）年までで小学校でようやく40人学級（一クラスの上限を40人にする、ということ。実際の編成には弾力性が認められているので、地域差がある）が完成し、令和2（2020）年から、コロナを慮って、ようやく35人学級に引き下げられた。

クラスの人数は少ないほうが学習効率はよいし、生徒一人一人への教師の目も届くと、確証はないが、普通に思える。しかしそれは、官僚も政治家も、一般国民もあまり望まないようだ。

子どもの学力が上がるのは好ましいに決まっている、ただし自分の子どもなら。他所の子どものために、なぜ多額の税金や社会保障費が使わなければならないのか。優秀かそうでないかは、所詮比較相対上の話だ。学力が全体として底上げされるなら、むしろ我が子のライバルに塩を送ることになってしまいかねないではないか。エゴと言えばそうだが、子作り・子育てが各家庭の事業である以上、このような思いが根絶されることはない。

なんだか、どうしようもないという見通しだけを述べて終わりになりそうだが、「教育にお金がかかりすぎる」情況は、特定の個人や集団のせいではなく、国民全体の思惑や欲望が絡み合ってこうなったのだ、ということは最初に心得ておくべきだろうと思う。

そのうえで、子育て支援金を出す以上の施策は、私にも思いつかない。今年度から、三歳までは月額15,000円、その後高校卒業時点までは10,000円支給することになっている（一人親や、低所得家庭の場合は増額される。また第三子以降は全期間30,000円）。ざっと計算して、第一子、二子は234万円、第三子以降は648万円総額で貰えることになる。

この金額の多寡についてはいろいろ議論があるところだろう。もう一つのポイントは、この金が親に渡される、というところである。何にどう使ったか、報告の義務があるわけではないので、生活費に充てても、貯金しても、つまり子どものために使わなくても自由。

再三述べたように、子作り・子育てが各家庭固有の事業である面からすれば、それでよい。しかし、自由である場合には、必ず、機会を生かすだけの賢明さがある人とそうでない人の差が出てきてしまう。またこの場合、塾やスポーツクラブなど、学校以外の教育機関がどれくらいあるかの地域差も大きく関係してくる。

だから私はこれによって、少子化には少しは歯止めがかかるかも知れないが、それ以上に、いわゆる階層化を進める結果のほうが大きいのではないか、と予想している。それでもかまわない、と思うか、その弊害が顕著になったら他に対策を立てればよい、と思うか、それぞれではあるだろうが、今後の日本社会の在り方を考えるためには、けっこう大きなポイントだと思う。

＊知り合いで元塾講師、現在は一人で出版事業に携わっている白崎一裕さんが、高校教師佐々木賢と共同通信社の記者・松田博公の対談による『果てしない教育？』と『教育という謎』いう昭和と平成の変わり目ぐらいに出た二著の再刊を企画しています。私見によるとこの二冊は、日本における脱学校論最大の成果です。白崎さんは現在、これについてのメールマガジンを出しておりますので、興味のある方は連絡してみて下さい。

(株)那須里山舎　白崎一裕
〒324-0235 栃木県大田原市堀之内625-24
tel: 0287-47-7620　fax: 0287-54-4824
携帯：090-3688-2431
livetoge@yahoo.co.jp　HP:https://nasu-satoya-masya.com/

プロフィール

本名鈴木敏男。茨城県の公立高校教諭（令和2年3月まで）。かたわら、文章を書く。単行本に『学校はいかに語られたか』『思想以前』『団塊の世代とは何だったのか』『軟弱者の戦争論』など。

高校受験

応援します。
受験生のみなさん。

埼玉県公立高校
〔定価1100円(税込)〕

埼玉県高校受験案内
〔定価2200円(税込)〕

高校過去問シリーズ
〔定価2090円～2420円(税込)〕

[高校過去問シリーズ発行高校]
■埼玉県内（41校）
秋草学園、浦和学院、浦和実業学園、浦和麗明、叡明、大宮開成、開智、春日部共栄、川越東、慶應義塾志木、国際学院、埼玉栄、埼玉平成、栄北、栄東、狭山ケ丘、秀明英光、淑徳与野、城西大付属川越、正智深谷、昌平、城北埼玉、西武学園文理、西武台、聖望学園、東京成徳大深谷、東京農大第三、獨協埼玉、花咲徳栄、東野、武南、星野、細田学園、本庄第一、本庄東、武蔵越生、山村学園、立教新座、早大本庄高等学院
■東京都内（117校）
■群馬、栃木、茨城、千葉、神奈川他(約90校)

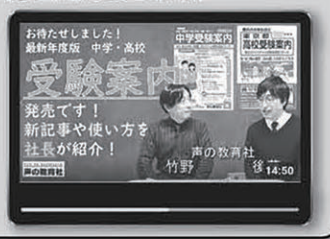
中学受験

〔定価2090円～2860円(税込)〕
〔定価2200円(税込)〕
〔定価1100円(税込)〕

/ 声教チャンネル

過去問出版社ならではのここにしかない情報や，発行物の効果的な利用方法などをお伝えし，あらゆる角度から受験生を応援します。

声教チャンネル



声の教育社 検索

声の教育社
〒162-0814 東京都新宿区新小川町8-15
電話 03-5261-5061(代) FAX 03-5261-5062(代)

春降る雪は音もなく(12)

―児童養護施設の子供たち―

山﨑　しだれ

みんなは、急いで食器を片付けて席に戻った。川野辺は、みんなを見まわし着席を確認してから言った。

「今、園長先生が見えるから、黙禱をして待っていてください」

次郎と修は視線を交わした。それを見ていた明彦が、“なに？”と視線で次郎に尋ねた。次郎は両方の眉と眼で“さあね”とジェスチャーを返した。

少し経つと、ゆっくりとした靴音がして、それはみんなの前で止まった。

「では、目を開けてください」

川野辺の声にみんなが目を開けると、そこには園長がいつものにこやかな表情で立っていた。

「おはよう」

園長の優しい声に、みんなもにこやかにあいさつを返した。

「おはようございます」

「ああ、元気があっていいね」

園長は、ゴホンと口に手を当てて咳をして、にっこりしてから続けた。みんな、園長先生の慈愛に満ちた笑顔が大好きだ。

「明日の午後に、知事が、上野知事がこの園においでになります。そこで、皆さんには、いつも練習をしている鼓笛を披露してもらいます。普段の練習の成果をしっかり披露してください。川野辺先生がご指導に当たります」

「あ、園長、鼓笛は小学校の鈴原先生に来ていただいていますので」

「こんな、春休みにも来てくださるのか」

「はい。今日も練習に来てくださいますし、明日も鈴原先生のご指導になります」

「川野辺先生も、ついていてくださるのでしょうね」

「はい。もちろんです」

そこで、生徒たちにクスクス笑いが起きたので、園長が怪訝な顔をした。生徒たちは、一層愉快そうにしていた。川野辺は、心なしか少し声を張り上げて言った。

「ええと、今から９時半までは自習学習をしていてください。その後、10時から１時間半鼓笛の練習をします。10分前になったら、鼓笛の服装に着替えて、講堂に集合してください。それまで、先輩たち三人はみんなの勉強をみてやってください」

「はい」

三人が同時に返事をした。

「解散」

みんながワイワイしながら、食堂から出て行った。それを見計らって、修が言った。

「なあ、オレ等、もう最後だからさ、３人で食器洗いに入らないか」

意気投合して三人は、笑いながら炊事場に入った。何も知らない明彦は、普段通りだ。その時、炊事場の斎藤のおばちゃんが誰にというわけではなく言った。

「なんかな、どうしたんだべ」

「何が？」

明彦が聞いた。

「うんだってな、今日は茎津先生の日だべ。日岡さんもおらんしな」

「そういやあそうだな。ま、その方がいいや」

明彦がするっと言ったので、次郎と修は声を立てて笑った。

「だけどな、いよいよ次郎や修と一緒にやれるのも最後だなあ」

明彦は本当に寂しそうだ。

「そうだ、明彦。あのさ、俺と修は今日の夜は寺橋のおばちゃんチに泊まりに行くことになってんだ」

「そうなのか。じゃあさ、また後で話すべ。さあてと、オレは先に勉強を見に行かんとな」

明彦は、タオルで手を拭くと出て行った。

明彦の後ろ姿を見送ってから修がボソッといった。

「次郎サ、あの後、どうなったんだろな」

「…わからん」

二人は無言のまま、手際よく大鍋や食器を洗った。とりあえず、大阪行きの準備をしなければならない。今日の炊事場のおばちゃんは、斎藤のおばちゃんと、もう一人は、この近くに住んでいる若い北口のおばさんだった。

食器の片づけが終った。次郎と修は並んで二人のおばちゃんの前に立った。おばちゃんたちは慌ててエプロンで手を拭いた。二人のおばちゃんに丁寧に頭を下げてから言った。

「おばちゃん、オレと修は明後日の朝、大阪に行きます。長い間いろいろありがとうございました」

次郎が言って頭を下げると、修も“ありがとうございました”と言って、丁寧に頭を下げた。

「うん…そっか、二人共、いよいよだな。次郎は何年ここにいたことになるんだ」

「なんか、10年位らしいけど、オレは小さかったからさ、はっきりと覚えていないんだ」

「そうかい、長かったな。…次郎は、ちっちゃくてな、メンコかったんだぞ。ここに来たときはな、人一倍泣き虫でな、よ〜く泣いてたさ。それが、こんなに大きくなってな、10年か、長かったな。大阪に行ってしまうんか、そうか、寂しいな。がんばれや」

斎藤のおばちゃんは感慨深げに言った。

「で、修は何年になるんだ」

北口のおばちゃんは、汚れたエプロンで早くも、目頭を押さえながら尋ねた。

「オレは、3年です」

「そうか、お前たちがいってしまうと本当に寂しくなるな」

二人のおばちゃんは、優しく二人を見つめた。

「ありがとうございました」

もう一度声をそろえてから二人が炊事場を出ようとした時、斎藤のおばちゃんが声をかけた。

「な、二人とも、また顔見せてな。なんかあったら戻って来いな」

二人は、深く頭を下げた。思わず、次郎の胸にグッと強く迫りくるものがあった。

二人が炊事場を出るのと川野辺が炊事場に入るのが入れ替えになった。川野辺は、後ろ手に炊事場のドアを閉めた。

「あ、ご苦労様。これから職員会議が始まりますので、職員室に集まっていただけますか」

「あれま、何時からかい？」
「今からです」
「すぐかい？」
「はい。すぐにお願いします」
　そんな会話を耳にしながら、次郎と修は二階に上がろうとすると、川野辺が追い駆けてきた。
「ちょっと、いいかな…」
　寝不足らしく、川野辺の疲れた目が赤い。
「え〜と、君等は昨日の夜、全部見ていたのかい」
　二人は顔を見合せた。
「…全部か、よくわかんないけど、なんかさ、おっきい音がしてさ…びっくりして飛び起きてさ、なっ」
　修は、そう言って次郎を振り返った。
「で、どうなんだ、次郎は」
「…」
「…次郎、…修」
「あのサ、全部かどうかわかんない。…見てたって言ったってサ、オレらは離れていたし、何やってるのか、なんかよくわかんなかった」
　次郎がボソッと言うと、続けて修が言った。
「そうだよ、大きな音がしてびっくりして、本当いうと、日岡先生を助けなきゃって、二人で行ったんだけどサ、そしたら、川野辺先生がいたのでびっくりしてさ」
「そうか…で、昨日の女子は何か言ってたか」
「女子って？あ〜あ、あいつ等。なんにも。だけどさ、なんかさ、泣きそうな顔をしててさ」
　修の言葉を受けて、次郎が言った。
「あいつらにさ、オレらが帰って寝ろって怒ったので、それで泣きそうだったのかもしれない」
「いやいや、わかった。ありがとう、もういいよ。これから職員会議が始まるんだ。園長も見えて打ち合わせがあるんだ」
　川野辺は少し天を仰ぐようにして続けた。
「ボクはね、実は日岡さんに前からいろいろなことを相談されててね、昨日はそっと様子を見に行ったところだったんだ」
　それから、まじまじと二人を見つめて、川野辺は話しを止めた。
「まあ、いい。今日は、二人共寺橋さんのところに泊りに行くんだったな。それに、大阪に行く用意もあるし、忙しいな」
「泊りに行くっても、夕食の後に風呂入ってから行くから、パジャマを持っていけばいいだけなんだ、

なあ」
　次郎はぶっきらぼうに言った。
「オレは、初めてだから楽しみだよ」
　修は笑顔を作った。
「そうか」
　川野辺は優しく二人を見てから言った。
「時間あったら、最後だからな、みんなの勉強もみてやってな」
「はい」
　そのとき、日岡がタオルで顔を隠すように抑えながら職員室に入っていくのが見えた。川野辺が続けた。
「ああ、それと…明日は知事が見えるから、その時ちょっと紹介することになっている。その時は、学生服を着ているほうがいい。それと、明後日の朝、ボクが君等を空港まで送って行く」
「はい」

　二階に上がると、子供たちはそれぞれ机に勉強道具を広げていた。

プロフィール

北海道生まれ。さいたま市在住。

著書『高校入試超基礎がため国語』　※旺文社

2010年～2022年「空を見る子供たち」連載完
※埼玉私塾協同組合　SSKReport
2022年「春降る雪は音もなく」連載開始
※埼玉私塾協同組合　SSKReport

令和５年５月
山﨑しだれ著
小説「仕事の歌」刊行
※文芸社

令和５年10月
山﨑しだれ著
小説「空を見る子供たち」刊行
※文芸社

令和６年９月
山﨑しだれ著
小説「たった一人の裁判」刊行
※文芸社

乱読毒舌独語(17 話)「人工知能」と「頭脳」

国分　岳

この数年、人工知能（ＡＩ＝artificial-intelligence）の発展は、おおげさでなく、すさまじいものがある。紹介している２冊の書籍は、いずれも2023 年発行の新刊書であるが、2024 年になってからも次々に最新のＡＩ情報が発表されている。しかも、それが一般市民の使うパーソナルコンピューターやスマートフォンにも浸透し影響を与え始めている。

生成ＡＩは、文章、音声、画像のみならず、動画を生成し、さらには芸術の分野にも進出し始めた。音楽、詩、絵画、随筆、小説、イラスト、映画、アニメ等々。

私が趣味の一つとして楽しんでいる俳句にも、ＡＩ俳句が存在する。その無数の俳句をヒントに俳句を作ることは、歳時記に載っている著名な俳人たちの句を参考に作句するのと同じで、何ら問題はない。しかしながら ＡＩ俳句をそのまま自作の俳句として投句することが許されるものかは、はなはだ疑問である（そんなことをして楽しいとは思えないが）。季語を指定し、「芭蕉風に」とか「蕪村風に」とか、作風を指定し「無常観あふれる内容に」などと作品の傾向を指定（入力）し、ＡＩが作った句（出力）を投句しても、選者は人間の作句か、ＡＩの作句かは解らない。芸術性、独創性があれば、秀逸な俳句として評価するであろう。その場合、入力した者に著作権が生じるのであろうか。１７音の俳句ばかりでなく、卒業論文、企画書などのビジネス文書なども作成可能となっている。私には、ＡＩに関する専門的な知識はまるでない。データベースをどう活用するかのソフト面、半導体をどう集積しているのかのコンピューターのハード面など皆目解らない。チェス、囲碁、将棋のプロもコンピューターに勝てないことは、周知の事実である。大量のデータを基に正解手を指す。さらに現在では、コンピューターそのものが学習し、あらゆる質問（入力）に解答する。しかも超高速で処理するので、瞬時に答が返ってくる。あたかも会話が成立したかのように。当然、仕事をＡＩに奪われると懸念している人もいる。著作権の有無の問題、頻発するフェイクニュース（デマ、虚報）、詐欺などの犯罪に悪用されてもいる。世界的なルールが必要と言われる由縁である。

生成ＡＩは、果たして人間を越えることが可能なのか。というより生成ＡＩは、人間の頭脳を凌駕（りょうが）することができるのか。頭脳の機能は多岐に渡り、人間の行為のすべてを統括している。その頭脳とＡＩを比較して、ＡＩが頭脳を越えた、あるいは越えるであろう、と予測することは現状では不可能である。あらゆる脳科学者が、頭脳のすべてを解明したとは言えないからである。人間は、顔の表情から（広い意味での運動）、情動（≒感情）に至るまで、頭脳がつかさどっていることは自明のことである。しかし、脳科学者は全容を解明できないでいる。それは健康な人間の頭蓋骨を開けて調べることは、倫理的にも不可能だからである。従って実験動物（サルやマウスなど）を使い、研究をせざるを得ない。また例外的に脳に損傷を受けた人間の治療の課程で、脳の働きを知ることはできた。それらによって、脳の地図を作成した。脳のＡの部分は、記憶を司り、Ｂの部分は言語の働きがある、などのように。しかし、脳機能の局在論は、複雑な脳の仕組み、働きを解明したとは言いがたい。物質ではない「心」は脳のどこに存在するのか。我々が「精神」と呼ぶものは、どこに存在するのか。おそらく脳全体が複雑に絡み合って、喜怒哀楽や好き嫌い、憎悪や愛情を内分泌物を含めて作動した結果だと思われる。脳の局在地図は、一つの仮説に過ぎない。単純に右脳の機能はこれこれ、左脳の機能はこれこれ、といったものではないはずである。fMRI（機能的核磁気共鳴画像）や PET-CT（陽電子放出断層撮影）などの機器により、脳各部位の血流の状態や病変が解るようになってきた。私も両機器により、検査を受けた経験があるが、その筒状の機器に横たわるだけで、生活する訳ではない。機器によって、人間の日々の行為・感情と脳の関係が明らかになることはない。

唯物論の立場から考えれば、脳も物質そのものであるから、やがては解明されると私は推測している。ニューロン（神経細胞）とニューロンの接続部位は、シナプスという構造がある。脳内の情報伝達は、化学物質が物理的に作動して情報を伝達したり、抑制したりしている。素粒子などのミクロの世界は、量子力学の世界であり、頭脳の機能もいずれは、量子力学で解明されると期待しているが、

脳科学者で量子力学にも精通している学者がいるとは寡聞にして知らない。頭脳の神経細胞（ニューロン）は、千数百億個、さらにグリア細胞は神経細胞の10倍もあると言われている。言うまでもないが、進化とは環境に適応するために、必要なものは発達し、不必要なものは、痕跡を残して衰退する。莫大な数のグリア細胞は、神経細胞のための脳内環境の維持と支援をおこなっていると漠然とした説明しかなく、神経細胞の10倍もあるグリア細胞の詳細に触れているものはない。要するに頭脳の細胞の全容は解明されていないのである。

これまで時代の変化と共に失われた職種もあったが、これからも減る職種は少なくないだろう。量子力学が大いに貢献している生成 ＡＩが人間の頭脳を越えるかどうかは、現時点では不明としか言いようがない。ただ私は、生成 ＡＩが頭脳をすべてに渡って越えるとは思えない。なぜなら生成ＡＩも人間が作り出した「道具」の一つにすぎないからだ。便利な道具は、効率がよく、利用者は増える一方である。便利な機器が登場して、それまでの不便さに気づくのが、人間の常である。例をあげれば切りがないが、パーソナルコンピューターやスマートフォンの無い世界は、今や考えられない。しかし、道具に人間がかしづくのは SF(science-fiction) の世界だけである。フィクション（虚構）では、何でも限りなく想像できる。Google や Amazon の大手企業が、現在危惧しているのは、膨大なデータを扱うデータセンターの電力供給である。コンピューター機器が正常であっても、電源が切れれば、使えなくなる。そこへいくと、頭脳は正常ならば死ぬまで使える。人間のふりをしている（感情があるかのような）コンピューターに振り回されてはたまらない。

しかしながら、この拙文も生成ＡＩに任せた方が、読みやすく、解りやすい文章になるだろうことは、予測できる。そういう時代が到来していることだけは間違いない。

〈了〉

書　名　生成 ＡＩ―社会を激変させる ＡＩの創造力―
著　者　白辺陽
出版社　SB クリエイティブ（株）
発行年　2023 年
概　要　まず第一に著者自身が OpenＡＩや ChatGTB を実際に試して本書を執筆していることである。つまり体験談を書いているので、説得力がある。生成（generative)ＡＩの歴史から始め、未来の予測まで、生成ＡＩの利点だけでなく、マイナスの問題点も指摘している。世界的なルールができない限り、ソフトウェアとしての武器となる。ロシア vs ウクライナ戦争において、双方がフェイクニュースとして非難し合っていることからも解ることである。

書　名　―ここまできた！―人工知能の最前線
著　者　新井克人、他８名
出版社　（株）工学社

発行年　2023 年
概　要　本書は、雑誌に掲載された各執筆者の連載文書を 15 章にまとめたものである。第 1 部では、現在のＡＩ事情、文章・画像の自動生成、法的課題。第 2 部では、今すぐ使えるサービスの具体的紹介。第 3 部では、最新ＡＩチップの話、現実に工場に組み込まれたＡＩの話、最後に鳥取県のＡＩアバター職員の話を紹介している。全体に散文ではなく項目ごとに集約した一覧にしている（ひょっとして編集者が生成ＡＩを使って見易い体裁にしたのではないか、と思わせる）。

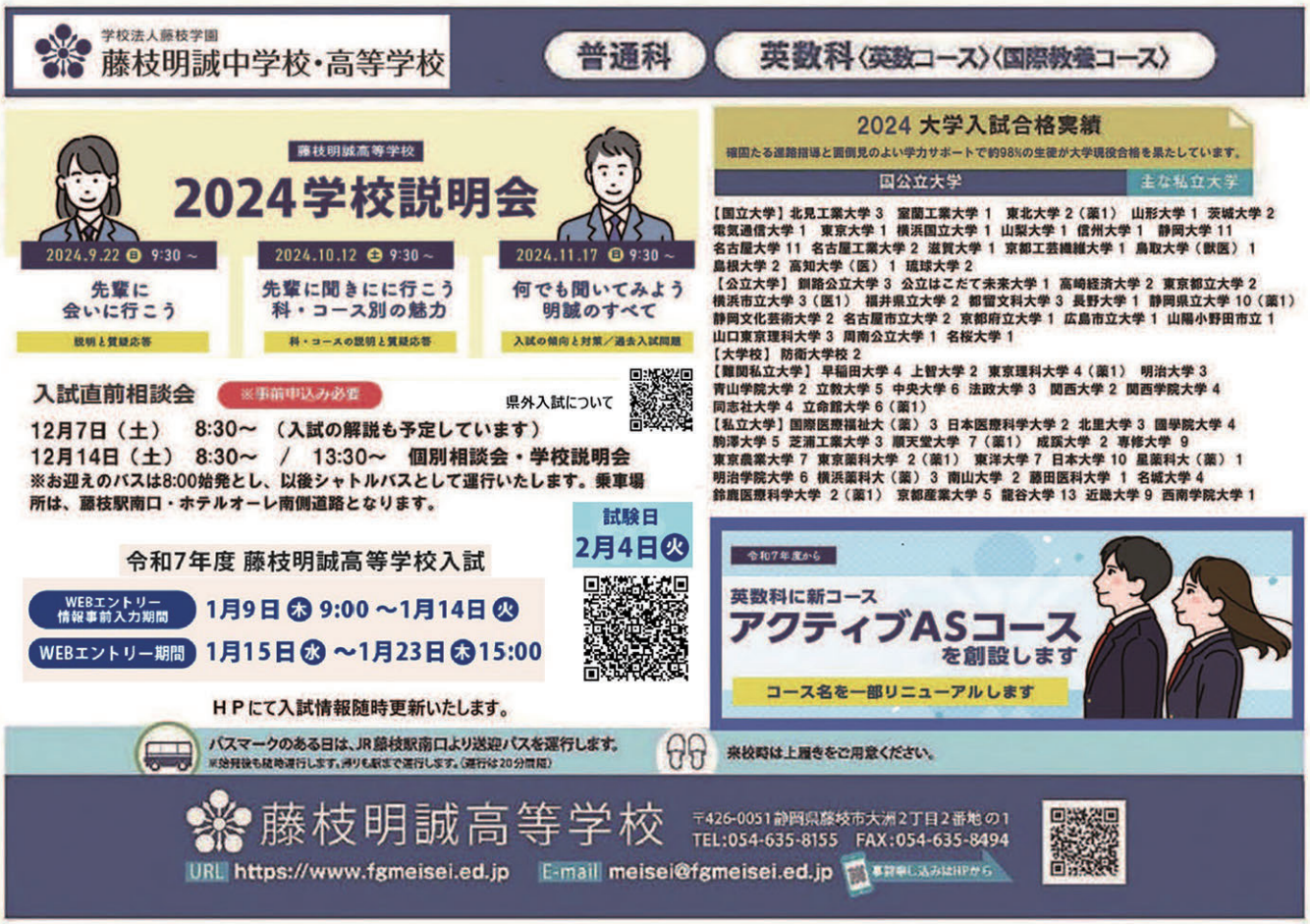
書　名　脳科学のはなし―脳科学の眼で見る日常の疑問―
著　者　稲場秀明
出版社　技報堂出版
発行年　2020 年
概　要　全 13 章 84 話からなる脳科学の概要。1 話ごとに（見出しは、すべて疑問文にしてある）文末に疑問に答える形で「まとめ」がある。第 1 章の「脳のしくみ」から始まり、感覚・記憶・言語・学習・運動・情動・性格・発達・ストレス・こころ・活性化・脳に関わる病気、以上脳の基礎知識について、ほぼ網羅されている。順を追って読まなくとも「人間は、なぜ忘れるのか？」「脳科学でこころは解明できるのか？」など自分の興味ある話から読むことができる。

書　名　「こころ」はいかにして生まれるのか―最新脳科学で解き明かす情動―
著　者　櫻井武
出版社　講談社（ブルーバックス）
発行年　2018 年
概　要　第 1 章脳の情報処理システム、第 2 章「こころ」と情動、第 3 章情動をあやつり表現する脳、第 4 章情動を見る・測る、第 5 章海馬と扁桃体、第 6 章おそるべき報酬系、第 7 章「こころ」を動かす物質とホルモン、終章「こころ」とは何か、でまとめられている。可視化できない「こころ」は、どう定義されるのであろうか。

プロフィール

1943年東京生まれ、現在、名古屋在住。

1963年大学中退、元人財共育コンサルタント。



特別進学コース　190名

T特選クラス
入学時から現役で東京大、京都大などの
旧帝国大学や国公立大学医学部の進学をめざす

特選クラス
入学時から現役で難関国公立大学や
難関私立大学の進学をめざす

特進アスリートクラス
学校指定の部活動で全国大会をめざしながら、
現役で国公立大学や難関私立大学の進学をめざす

選抜進学コース　185名

選抜アスリートクラス
学校指定の部活動で全国大会をめざすとともに
現役でG-MARCHを目指す

選抜クラス
現役でG-MARCHをめざす

IBコース　15名

IB(DP)クラス
世界基準のプログラムであるIB(国際バカロレア)教育を実施し、
日本そして世界のリーダーに必要な要素を身につける

昌平中学校

International Baccalaureate
国際バカロレア
[MYP]認定校・[DP]認定校

2024年 学校説明会&イベント

学校説明会

第4回　7月13日(土)　10:00～
第5回　8月31日(土)　10:00～
同時開催「第1回 腕だめしテスト」
第6回　9月21日(土)　10:00～
第7回　10月14日(月祝)　10:00～
同時開催「第2回 腕だめしテスト」
第8回　11月　9日(土)　10:00～
第9回　12月　7日(土)　10:00～
説明会の中で「入試直前対策」を実施します

体験プログラム 保護者様は同時開催の学校説明会に参加できます

腕だめしテスト 対象:小6

第1回　8月31日(土)　第2回　10月14日(月祝)
[2科] 国・算 10:00～12:00　[4科] 国・算・理・社 9:00～12:00

入試直前対策講座

12月　7日(土)　10:00～
※学校説明会の中で実施いたしますので、保護者様もお子様と一緒に参加できます

予約方法　各イベント実施2ヶ月前より
本校ホームページからお申し込みください。
推奨　https://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/jhs/

各イベントの詳細は、本校HPでご確認ください

昌平高等学校 大学合格実績

最難関国立大学　10名合格
旧帝大＋一工
東京大学(文科二類)・東京工業大学・一橋大学など
東京大学 1名・東京工業大学 3名・一橋大学 1名・北海道大学 2名・
東北大学 1名・名古屋大学 1名・九州大学 1名・お茶の水女子大学 2名・
東京外国語大学 2名・筑波大学 9名・千葉大学 3名・横浜国立大学 1名・

国公立大学　78(現役70名)名合格

早慶上理　56(現役40名)名合格
早稲田大学 11名・慶應義塾大学 6名・上智大学 17名・東京理科大学 22名

G-MARCH　199(現役182名)名合格
明治大学 44名・青山学院大学 18名・立教大学 47名・中央大学 32名・
法政大学 34名・学習院大学 24名

医学部医学科　7(現役3名)名合格
順天堂大学 1名・北里大学 1名・獨協医科大学 2名・
東京女子医科大学 1名・関西医科大学 1名・日本医科大学 1名

昌平高等学校
手をかけ鍛えて送り出す　Shohei High School
IB World School 国際バカロレア認定校

昌平高等学校のイベント　※ＨＰイベントから要予約

学校説明会＆個別相談会＆個別相談Day　※0480-34-3381対応可

学校説明会・個別相談会 9:30	6月29日(土)(説明会のみ)　8月3日(土)・24日(土)　9月15日(日)　10月13日(日)　11月17日(日)　12月15日(日)
T特選説明会・個別相談会	7月13日(土)14:00　9月27日(金)18:15　10月19日(土)14:00
IB説明会・個別相談会 14:00	7月13日(土)　9月21日(土)
特進アスリート説明会・個別相談会 18:15	9月26日(木)　10月23日(水)
個別相談Day	9月21日(土)　10月19日(土)　11月16日(土)・30日(土)10:00　12月21日(土)9:00/13:00
平日個別相談 9:30～12:00	9月24日(火)・26日(木)　10月15日(火)・16日(水)・21日(月) 11月18日(月)・20日(水)・21日(木)・26日(火)　12月16日(月)・18日(水)・20日(金)

昌平高等学校
ネット出願

すべて完全予約制です　推奨 本校ホームページからネット予約 https://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/hs/

※インターネット環境がない場合は電話でもご対応いたします。0480-34-3381(平日9:00～16:00)　※日程の変更や中止の場合があります。必ずＨＰでご確認ください。

昌平高等学校

SHOHEI 手をかけ 鍛えて 送り出す

交通
- JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅下車：自転車 15分　直通バス 10分　路線バス 5分 徒歩 8分
- 東武日光線 杉戸高野台駅西口下車：徒歩 15分　直通バス 5分
- 東武伊勢崎線 和戸駅下車：自転車 8分

〒345-0044 埼玉県北葛飾郡杉戸町下野851　TEL:0480-34-3381　FAX:0480-34-9854　https://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/hs/

娘たちとの生活　in　America

Scene 13　様々な学び方

織井　菜穂

ホームスクーリング

月に１度アメリカ人のお友達の家で各国の方とお話をする会に参加していました。いつお邪魔してもお子さん３人が家にいるので、学校は？と聞いてみたら、ホームスクーリングをしている。とのこと。当時は 250 万人の子供がホームスクーリングで学んでいましたが、コロナ禍を経て現在は 300 万人が学んでいるようです。これは全体の３％以上にあたります。各州によって規定が違うようですが、家庭での指導計画を市の教育委員会に提出をし、許可を得ることが必要です。また、前年度の成績結果の提出も義務になっています。

お話会のお礼を考えた時、レポートが書けるように各国の面白い事を紹介しようという事になり、日本チームは流しそうめんに決定しました。竹はないのでビニールパイプを半分に切り、ペットボトルの水と共に素麺を流しました。子供達は器用にお箸を使いこなし、楽しんでくれました。とても気に入ってくれて、パイプが欲しいというのでプレゼントしました。今でも使ってくれているらしく、バーベキューの時などに活躍しているそうです。

ホームスクーリングをしていると、同年代の子と触れ合う機会がないのかな？と思っていましたが、アウトドアクラスというクラスに参加していて、他のホームスクーリングで学んでいる子供達と動物園や図書館のプログラムを通じて定期的に交流する機会があり、沢山のお友達がいるとのこと。また、Art と Music は Kinder から担任ではなく、専門の先生が指導してくれるという理由で、本来通う予定の小学校に授業を受けに行っていました。３人の子供のスケジュールに合わせて送り迎えをするのは大変そうでしたが、毎日がとても充実していると感じました。

独創的な作品

Art の美術では、様々な物を使って作品を作ります。娘がひまわりの絵を描いてきた時には、種の

部分に本物のひまわりの種を張り付けて、ひまわりの花びらは紫や青でした。先生は生徒の作品 1 つ 1 つに専門的なアドバイスをして、小さい子でありながら、立体的になるような影の描き方や筆の使い方を教えてくれます。出来上がった作品は子供の作品というより、芸術家の作品に見えます。好きな題材で絵を描く事はあまりなく、模写が多かったと感じます。

日本に帰国後、絵のクラス展示物を見たときに、びっくりした事がありました。校舎を描いていたので、大体の子が背景を水色で塗ってある中、娘は夕方の方が綺麗だから。と、紫とオレンジが混ざった紺色にしていて、独特な雰囲気を醸し出していました。（写生ではないから何色でも OK と先生にはお聞きしました。）

決して上手とは言えない娘の絵ですが、一つの「作品」と思わせてくれるのは Art の先生のご指導のお陰だと思っています。

カラフルなリコーダー

音楽の授業は3rd まではコーラスやリトミックをします。4th からリコーダーが始まるのですが、紫、緑、赤、青、黄色の中から好きな色のリコーダーを注文出来ます。届いたリコーダーは 100 円ショップに売っていそうなスケルトンカラーのリコーダーでした。毎週課題が出され、先生の前で披露し合格すると、その級のリボンがもらえる〔リコーダー KARATE〕というものをしていて、黒帯にあたる黒リボン目指して皆頑張っていました。リコーダーコンサートも開かれ、演奏だけでなくマーチングのように動いたり踊ったりと工夫された面白い演奏でした。

スクールプレイ

毎年 3 月に 4 th、5 th 希望者によるスクールプレイ（音楽劇）が開かれます。「アニー」や「チャーリーとチョコレート工場」など毎年大作です。台詞やソロ歌唱のある役はオーディションが行われますが、大体 PTA 役員の子が選ばれていた印象です。実力主義のアメリカにおいて、面白いなと思いましたが、寄付やボランティアで成り立っている面もあるので「選ばれたかったら仕事をするべき！」という主張も納得できます。

アメリカでは行動した人が勝ち！！

3 カ月ほど、放課後の練習をしてミュージカルコンサートが開かれます。3 日間で 4 公演。チケット

制でこの売り上げも学校に寄付されます。コーラスパートは誰でも参加できます。リコーダーコンサートの時も思ったのですが、背の順という並び方を普段からしないからなのか、背の高い子が前列にいて後ろの子が見えない事があります。日本では配慮されてきっと綺麗に整列するのだろうなあと思いました。

スキップする？しない？

娘の担任の先生から、算数のスキップテストを受けてみない？と提案されました。(日本の学校の方が１学年分位進みが早いです。)スキップとは飛び級の事です。飛び級は学年を一つ上げるだけでなく、特定の科目のみ飛び級する事も可能との事。テストに受かると算数の時間だけ上の学年にお邪魔します。そのまま学年が上がっていくとエレメンタリー最高学年 5th になった時にはどうするのか？ミドルスクールにお邪魔するのです。169 号で書いたように、１時間毎にハイスクール、ミドルスクール、エレメンタリースクールの順で学校が始まるので、朝、ミドルスクールのバスに乗って１時間目の算数の授業を受け、終わったら特別バスでエレメンタリーに戻ればエレメンタリーの１時間目に間に合うというスケジュールです。エレメンタリーでの算数の時間は自習をしたり算数を教えてあげるアシスタントになるそうです。

飛び級なんてカッコイイ！とも思いましたが、英語だらけで頑張っている娘達。算数がクラスの中で一番出来るという事で皆からすごいね！と言ってもらえる時間＆リラックスタイムが必要だと思ったので試験は受けませんでした。

長女の担任の先生から教えてもらったのですが、ある日、長女と同じクラスの男の子が他のクラスの男の子と口喧嘩した時に、

「うちのクラスのＳ（長女）はもう割り算できるんだからな〜！！」

と言っていたそうで、

「クラスの自慢なのよ〜！」

と笑っていました。

元気な子は注意！

自由にみえるアメリカ。学校生活は日本よりも厳しいかもしれません。エレメンタリーでは教室移動の際は必ず列になって移動します。この時に押したり、叩いたりすると、ふざけていただけだとしても報告書が出されます。バスから降りる時に、兄弟喧嘩でお兄ちゃんの事を押してしまった弟が報告書を出された事もあります。

暴力はもちろん、差別的な発言、行動もすぐに報告されます。お相手もアジア系の子だったのですが、日本人の子がつり目ポーズをされた時や、紙で作った銃で人を撃つ真似をしただけで一週間の停学処分になった例もあります。

しかし、スターウォーズの真似で紙の剣を振り回してチャンバラごっこをしている子は罰せられることはなく・・。どこからがダメなのか分かりずらいです。

ワンちゃんも一緒に

時々、学校にやってくるワンちゃんがいます。セラピードッグとして生徒たちの不安な気持ちを和らげてくれます。各クラスを巡回し、一緒に授業を受けます。本を読むのが嫌いな子もワンちゃんに読み聞かせする事を楽しみに音読を練習していました。

娘の友達が通っている高校では【ZEN ZONE】というセラピードッグが常駐している心を落ち着かせる部屋があり、ストレスを溜め込みやすい年齢の子達の助けになっているそうです。

リコーダー【空手】や【禅】ゾーン。日本語が何気なく使われていて嬉しい気持ちになりました。

●SSK活動の記録

10.17(木)	理事会	レイボックホール(大宮)	10:00～12:00
11.21(木)	理事会	レイボックホール(大宮)	10:30～12:00
12.8(日)	「年末情報交換会」	大宮サンパレスGLANZ (受付) 17:30	18:00～20:00

「労務関係のご相談は、私にお任せください！」

SSK顧問　社会保険労務士　**高橋　裕**

・業務内容　① 雇用・人事に関する相談
② 労働保険・社会保険に関する相談
③ その他、労働関係諸法令、労働保険・社会保険関係諸法令に関する相談

・相談窓口　埼玉県私塾協同組合　本部事務局　坂田義勝
TEL: 049-224-7193　FAX: 049-224-3342
F-Mail　sakata2451@nitfy.com

組合加入へのお誘い

埼玉県私塾協同組合とは
昭和６２年７月１０日 設立
埼玉県認可私塾協同組合です。

会費　月 **5000** 円

出資金（加入時）１口１万円

下記本部事務局にお問い合わせ頂ければ、早速申込書をお送り致します。
定例会・イベント等もお気軽にお越し下さい。

埼玉県私塾協同組合事業ご案内

☆通常総会　☆定例会(隔月)：各種研修会等の報告、得意分野等の実践報告、教育や経営情報等の交換会　☆中高入試説明会(年1回)　☆全国研修大会(私塾協同組合連合会)参加　☆組合忘年会　☆私塾フェア　☆機関誌「SSK REPORT」発刊：組合広報活動　☆組合公式Webサイト運営　☆メール､FAX等による情報交換　☆「公立・私立」の合同フェア後援活動　☆協同組合連合会及び友好団体との情報交換活動　☆受験情報速報　☆協賛企業による特別価格物品販売　☆顧問税理士による税務相談：豊野会計事務所

【本部事務所】
〒350-0822 川越市山田東町1707-3
英進学院内：坂田　義勝
TEL 049-224-7193
FAX 049-224-3342

【広報事務局】
〒344-0059 春日部市西八木崎3-17-7
戸田　敦子
TEL 048-763-3886 FAX 048-763-3892
E-mail:ats001@mtg.biglobe.ne.jp

ＳＳＫ（埼玉県私塾協同組合）公式ホームページより

「学校紹介動画」投稿のお願いです。

学校の教育実践・授業風景から職員紹介、施設案内や部活動風景など、様々な学校紹介動画をＳＳＫホームページからも閲覧できるようにします。
多くの人に見てほしい大作、小作、力作動画をお寄せください。
以下の要領でお願いします。

①メールに動画のＵＲＬを入力し、戸田敦子宛に送信
　ats001@mtg.biglobe.ne.jp
②「広告料」の類は発生しません。他社広告の割り込まない、元ＵＲＬ(学校 HP 上のアドレス等)をご指定ください。
③１校につき、最大１０本まで。
④掲載場所：（埼玉県私塾協同組合（saikumi.net））
ＳＳＫホームページトップ・SSK ロゴ下・【塾発 Visual】バナー画面より入り、各校ロゴより提供ビデオ動画に直リンク。公開動画にアクセスします。
※公開紹介ビデオにつき委細ご理解くださいましてご提供くださいますようお願いいたします。

組合ならではの広告の入らない投稿公開総合 Visual サイトにしたいと思っております。
ご理解ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。　　三拝

SSK 埼玉県私塾協同組合　理事 SSK Report 編集長　本荘　雅一
理事 広報部長　戸田　敦子

◆ 埼玉県私塾協同組合加盟塾一覧(2025年1月1日現在・順不同) ◆

コード	塾　名	代表者名	住　所	電　話
12	英才予備校伸学院	山口　伯	越谷市弥十郎727-13	048(977)2803
39	雅学習塾	荒瀬　雅美	草加市遊馬町286	048(928)3540
50	東大セミナー	網代　浩	白岡市実ヶ谷1080-2	048(769)2731
54	小泉塾	小泉　明	熊谷市籠原南3-345	048(532)0683
74	学習舎	戸田　敦子	春日部市西八木崎町三丁目17番7号	048(763)3886
84	教育学院	岡村　麗子	さいたま市緑区東浦和7-17-5	048(874)0791
90	英進学院	坂田　義勝	川越市山田東町1707-3	049(224)7193
97	ステップ	山田　千里	さいたま市浦和区北浦和5-15-16	048(832)2312
98	木下英数教室	木下　和子	さいたま市見沼区御蔵72-12	048(686)1146
101	新井塾	新井　恵詞	比企郡嵐山町菅谷230-3	0493(62)8101
105	花田義塾	佐藤　祐輔	越谷市花田4-18-22	048(964)1184
106	早野塾	早野　正峰	草加市谷塚仲町325-6	048(927)1351
107	歩学舎	丹羽恵美子	ふじみ野市旭1-13-56	049(261)9062
108	野田塾	野田　純子	鴻巣市生出塚1-13-9	048(541)2249
112	ケンアイゼミ	川邉　洋一	深谷市上柴町東5-5-20 アーバンYS106-101	048(573)8919
117	エルモカレッジ	小川　久美	草加市谷塚225	048-928-1800
118	エルモゼミナール	鈴木　亮介	草加市草加3-3-32ミキハイツ１Ｃ	048-951-1380
125	ソロモン総合学院	内藤　潤司	狭山市中央1-4-13	04(2959)3750
128	サイエイスクール サイエイ・インターナショナル	福島　隆	さいたま市北区宮原町2-127-1	048(669)0503
130	吾妻稲門ゼミ	根本　義明	所沢市北秋津116-17	04(2925)8934
132	セルモ川越新宿教室	大久原 秀一	川越市新宿町5-6-14	049(265)8433
135	学修塾　ダンデリオン	本荘　雅一	川口市東本郷1131-1 第二寿マンション102	048(430)7217
136	名学館ライフガーデン東松山	島　健	東松山市あずま町4-8-8	049(335)4119
141	学習空間埼玉西部エリア	坂井　尊	川越市新宿町6丁目26-4	049-238-0030
143	修徳スクール	石川　和男	さいたま市浦和区東岸町9-20　新山ビル2階	048-711-7618
144	株式会社ブレイン	稲毛　淳	三郷市三郷1-11-2　402	0489-99-5289
145	五宏スクール	五十嵐昭宏	日高市武蔵台1-23-10	090-9952-4552
NEW⇨ 146	自律学習塾 MIND UP	佐田　マキ	越谷市東柳田町11-16-1F	048(930)7070

進研Vもぎ 塾内で進研テスト

塾内でご実施できる進研テストでの学力診断をおすすめします。対象 小学４年生～中学３年生

中学１～３年 成績表

信頼できる合否判定！

公立・私立・国立高校合わせて４校を判定。
都立高校については、内申点と偏差値（得点）の総合得点により判定をします。

都県内同学年全在籍中推計順位・塾内順位・教室内順位を表示。 ※非表示にすることも可能

弱点チェックに！

各教科の内容を領域別に分けて正答率を見える化。

進研Vもぎと連動！

５科、３科、教科ごとの偏差値推移。
中３は「進研テスト」と「Ｖもぎ」を合わせて表示！

復習に便利なまとめ答案

教師用として、成績一覧表・成績順位表の他に、領域別小問分析表など、ご提供します。

小学４～６年 成績表

小学生には かわいいイラストで。

成績の動きが分かりやすい！

４科、２科、教科ごとの偏差値推移。

各教科それぞれ領域別に正答率を表示。弱点領域が一目で分かり、さらに、具体的な学習アドバイスもついてきます。

サンプルご希望の方は shinken 進学研究会 まで ☎03-3952-4171

SSK Report

埼玉県私塾協同組合●広報誌

https://www.saikumi.net

Vol.178
2025.
冬号

『SSK Report』編集部からのお知らせ

『SSK Report』編集部では、読者の皆様からのメールを受け付けます。
おおむね以下の内容で自由にお寄せ下さい。
＊『SSK Report』内容に関するご意見・感想・質問・要望・提案など
＊エッセイ、PRなどの投稿
＊『SSK Report』編集部からの取材・誌上での紹介をご希望される方や各種団体、機関等。自薦他薦ともに

送信先：honjo@gkdan.com
本荘雅一　まで
件名に「SSK広報誌編集部行」
皆様からの貴重なドキュメント、お待ち申し上げます。

SSKReport Vol.178
2025年1月11日（次号2025年1月発行予定）
●発行　埼玉県私塾協同組合
●発行人　坂田義勝
●編集人　本荘雅一
●頒布価格　500円
●発行部数　500部

●報告・執筆協力者
鎌田慎太郎（ベネッセコーポレーション　塾・教室開発部グループレーダー）／神山達人（東京農業大学第三高等学校・附属中学校校長）神杉旨宣（城西大学附属城西中学・高等学校校長）／深澤一博（西武台新座中学校・西武台高等学校校長）／山口直也（埼玉平成中学校・高等学校校長・理事長）／小宮山博仁／長原糸恵（のびのび学習塾）／浅沼渉（専門学校東京ビジネス外語カレッジ・学習塾ファインズ講師）／布浦万代（万葉集研究家）／大水秀樹（東星学園中学校高等学校）／由紀草一（元茨城県公立高校教諭）／山﨑しだれ／国分岳／織井菜穂／坂田義勝（埼玉県私塾協同組合理事長）

●編集後記

■今回から、各学校の紹介を４校に増やし、１回あたりの字数を抑えて２～４回の連載方式にいたします。各学校の校長先生の魅力を、１回だけで「完結」させてしまうのは惜しいと編集部の方で議論になりました。

■東京農大三高では、ピンチをチャンスにして学校改革を構想。生徒たちの意識を自由に拡散させ（グローバル教育）、生きている世界における自然科学的、社会科学的実相に観入しようとし（実学教育）、学校そのものを一つの小宇宙として生命活動（生活）の場とする（学内完結型教育）。

　生徒保護者だけでなく学校職員の生活も活性化することで「新たな景色」を開こうとされています。

■城西城西中高は普通科の学校ですが、「国際」をことさら冠せずとも開学当初から海外との交流を日常化していたそうです。本当の「国際化」なのでしょう。

　「日本の若者の『自己肯定感の低さ』」も問題視されています。先生方が、子供たちに多様な経験の機会を提供し、成否よりも「気づき」を得るよう、働きかけているとのこと。成果は上がっているそうです。合唱コンクールのエピソードが印象的。

■ICTやAIの発達・普及のなかでこそ、生徒の人間性を重視し、自己実現のサポートをしようとするのが西武台中高の校風。

　新しいものを生み出す創造力の養成、そうしたテーマでのこの先の展開が楽しみです。

■埼玉平成中高山口校長先生の飾らない、そして真摯な人柄がよく伺えます。「育む」とは「羽括くむ」ことだと、私自身かつて教えられたのを思い出しました。どのような生命も「受け入れ」巣立っていくのを見守ること、それが大事なのだと。山口先生もそのような心的境地に立ってらっしゃるのだろうと拝察しました。今後の展開も楽しみです。

■ベネッセ「スタディサポート」での調査データについて、全体及び教科ごとの分析結果はとても参考になりました。ミクロな個人塾のなかでも感じていたことが、マクロデータで裏打ちされるのを見て、これは保護者にもそのまま面談資料として提示できる貴重な資料だなと感じました。

■浅沼渉先生の「Math and Science Kaleidoscope」は今回で最終回となります。英語で書くのが先か、日本語で書くのが先か、聞こうと思ってずっと聞きそびれていましたが、いずれにせよテーマを考え、少ない紙数でまとめ、翻訳する。相当な労力であったろうと思います。日々の激務のなか、これまで本当にありがとうございました。

■教育評論家小宮山博仁先生の新刊紹介を掲載しました。『リベラルアーツ』。全国の公立高校入試における社会の問題を数年分博捜し、現代社会の象徴的事象や世相、課題、文化や制度の意義と役割など77のトピックで網掛けし、全体像を掬い取りしようという意欲作です。問題と解答例、一般人が身に着けたい教養ポイントのフカボリ解説と、その事例を実生活で有効活用するための提案という構成で、読みやすく親しみも湧く内容になっています。社会の先生方だけでなく、広く一般の方々にこそ味わってほしい本です。早速社会の授業時の小ネタとして活用させてもらいましたが、生徒の反応も良かったです。

■小紙の発行後まもなく米国次期大統領の就任式を迎えます。トラ氏は品性について疑問も多く、日米関係でも過酷な要求を繰り返しそう。そのツケは有難いことに我々への増税へ回されるはずです。不愉快な未来を歓迎したくはないが、各地の「戦争状態」を終わらせようとはしている。が、まるでそれを阻止しようと、紛争を拡大する動きが活発化中。「正義を重視するか、それとも戦闘中止を優先してしまうか」「戦闘停止前に領土拡大しようと、却って紛争の激化を招く」（ＮＨＫ「国際報道」）等々、トラ氏の方針が世界を危機に陥れる印象報道の連続。強烈な違和感、いやおぞましさ。不倫疑惑の方がはるかにマシに見えてしまう。増税される方が…やっぱ嫌だがマスコミたちのおぞましさが上回る。そんなへびーな年になるのか。勘弁してほしい。

（本荘雅一）

（表紙デザイン　沢辺　均）